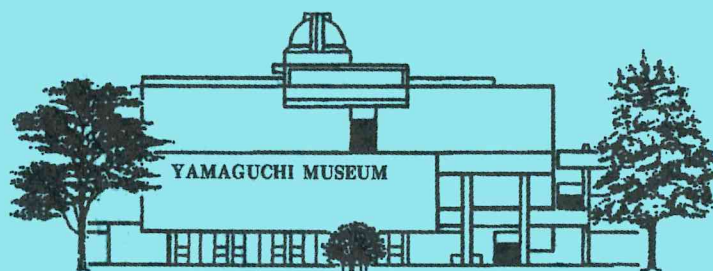


館報 44



令和3年度（2021年度）
山口県立山口博物館

は じ め に

当館は、明治45年（1912年）に防長教育博物館として発足し、大正6年（1931年）に山口県立教育博物館として県に移管されました。その後、戦後の改編を経て、人文・自然両部門をあわせ有する総合博物館として昭和42年（1967年）に改築され、令和4年（2021年）年に開館110周年を迎えました。

県立の博物館としては全国でも最も長い歴史を誇り、「文化の継承と発展のために努める」、「総合博物館として活動する」、「豊かな心を育み人づくりに資する施設として貢献する」、「多彩な博物館活動を行う」の4つを基本方針として、36万点を超える資料を収蔵し、その保管、展示及び調査研究を行っています。

さらに、県民の皆様を対象に多彩な講座・教室を開設する「教育普及活動」をはじめ、長期研修教員であるMT（ミュージアム・ティーチャー）と学芸員が連携し、学校・地域の学習活動を支援する「博物館学校地域連携教育支援事業」等を積極的に展開しており、これらの活動は、質・量ともに全国トップクラスの取組であると自負しています。

令和3年度も新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せず、入館人数制限等の対策を徹底しながら開館してまいりましたが、夏季には感染力が強いとされる「デルタ株」の流行により、特別展「江戸時代の旅と街道」の開催期間中に臨時休館せざるを得ませんでした。一方、県内の児童生徒が平素の研究成果を発表する「サイエンスやまぐち2021」や、2つのテーマ展「宝山の一角 山大コレクション in 山博 - 山口大学学術資産継承事業成果展 -」と「動物サポーターの7年」については、新規感染者数の発生が比較的少ない時期であったため計画どおり開催することができました。

また、「教育普及活動」では、昆虫教室、植物教室、地学教室、科学工作講座、歴史教室、天体観望会など延べ22講座を開催するとともに、「博物館学校地域連携教育支援事業」では、出前授業、当館での社会見学や職場体験、館内授業などをオンラインも活用して実施し、延べ319団体、約1万5千人の方々にご利用いただいたところです。

さらには、歴史展示室に「デジタル松下村塾」を開設し、また、ホームページ上では、「バーチャル山口博物館」の中で、これまでの特別展や企画展等をデジタルコンテンツとして閲覧できるようにするとともに、年度末には各分野の「バーチャル収蔵庫」を開設するなど、コロナの時代にあっても、様々な工夫をした取組を展開しています。

これからも、県民の皆様のニーズを踏まえた展示内容の充実や、学校・地域と連携した教育普及活動の展開、そして、これら諸活動の基礎となる調査研究等に積極的に取り組んでまいりますので、皆様のご来館とご利用を心からお待ちしております。

令和4年9月

山口県立山口博物館

館長 西 村 和 彦

目 次

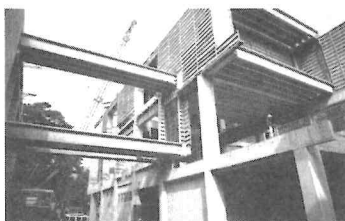
I	沿 革		1
II	管 理 運 営 概 要		4
1	組 織		4
2	敷地・建物の概要		5
III	令和3年度利用状況及び年次推移		8
IV	令和3年度事業概要		14
1	資料の収集・保管		14
2	資 料 展 示		18
3	調 査 ・ 研 究		38
4	教 育 普 及		41
5	そ の 他		47
V	基本方針と令和4年度の事業概要		49

I 沿革

明治41年 4月	皇太子殿下が行啓され、行啓日程の中で山口県教育品及び物産展覧会を御覧になられた。
明治41年10月	山口県教育会長が山口町長と大殿小学校旧校舎敷地建設使用契約を締結した。
明治45年 4月	皇太子行啓記念事業として、山口県教育会が大殿小学校旧校舎を補修して防長教育博物館を設置した。（展示物総計5,451点）
大正 3年 9月	巡回教育博物館活動を開始した。（吉敷郡宮野村ほか）
大正 4年10月	山口県立教育博物館建設費が県会で議決された。
大正 5年 1月	山口県教育会は代議員会で、大正 5年度限りで防長教育博物館を廃止し、図書、標本、機械、器具を山口県立教育博物館へ寄付することを決定した。
大正 6年 4月	山口県は大正天皇即位大典記念事業として山口県立教育博物館を設置、同年 8月19日で旧館を閉じ、 9月23日現在地に新館を開館した。
大正15年 5月	皇太子殿下が行啓され、行啓日程の中で、御来館された。
昭和 2年 1月	大典記念山口県立教育博物館と改称された。
昭和 3年12月	皇太子殿下の行啓を記念した防長先賢堂が落成した。
昭和 7年 6月	特別室が竣工した。
昭和12年 5月	吉岡訓導銅像（制作者 保田龍門）、阿部校長銅像（制作者 河内山賢祐）の除幕式が行われた。 （昭和18年11月供出）
昭和16年 9月	博物館前庭に赤道儀室（スライディンググループ式）を建築、10cm屈折赤道儀を新設し日食観察を実施した。
昭和17年12月	山口道場門前から、枕流亭（維新の史蹟建造物）を本構内に移築した。
昭和20年 4月	太平洋戦争の苛烈化のため、 4月21日展示観覧を中止、資料を疎開し博物館は休止した。
昭和21年 4月	山口県立教育博物館に山口県立科学教育研究所が設置された。
昭和22年 4月	山口県立科学教育研究所が山口県立科学博物館と改称された。
昭和23年 3月	第 1回山口県科学振興展覧会を開催した。
昭和25年 7月	自然・人文両部門をあわせ有する総合博物館として教育博物館と科学博物館を統合して山口県立山口博物館が再発足した。
昭和27年 5月	山口県立山口博物館設置条例（昭和27年山口県条例第35号）が公布された。
昭和39年 3月	山口県博物館条例（昭和39年山口県条例第55号）が公布された。
昭和42年10月	建物の老朽化のため、鉄筋コンクリート建築に改築して10月 1日開館し現在に至る。 （設計 坂倉準三）
	維新100年記念開館特別展「近代国家へのあゆみ」を開催した。（入館者 179,526人）



山口県立教育博物館（大正6年）



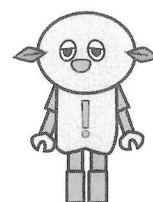
新館建設の様子



「近代国家へのあゆみ」開催

昭和43年 9月	D60型 1号蒸気機関車を山口博物館構内に展示（無償貸借）
昭和62年10月	理工展示室NTTコーナーを改装した。
昭和63年 3月	理工展示室中国電力コーナーを改装した。東側屋外階段を改築（鉄骨化）した。
平成元年 3月	屋外階段（建物正面）の撤去・新設工事を実施した。

平成2年3月	建物のイメージアップとパークロード周辺の建物との調和を図るため外壁（東側）をタイル張りに改修した。 理工展示資料を充実した（山口線運転シミュレータ、X線分析装置、真空凍結乾燥装置、アナモフォーシスほか）。 アスベスト除去工事（館長室、事務室、学芸員室、特別収蔵庫）、歴史展示室の常設ケース更新を実施した。
平成3年3月	前年度に引き続き理工展示資料を充実した（展示ロボット、教育用ロボット、多関節形ロボット、電気の原理模型ほか）。 生物展示ケースの常設ケースを更新した。
平成4年3月	博物館裏山（春日山）の公園整備にあわせ建物のイメージアップと周辺との調和を図るため、外壁（西側）をタイル貼りにするとともに非常階段（西側）の改築も行った。 生物展示室、地学展示室の常設ケースを更新した。先賢堂の改修を実施した。
平成5年3月	20cm屈折赤道儀修理、地学展示室の常設ケース更新（常設ケース更新事業終了）
平成6年2月	受電設備の老朽、劣化にともなう電気設備の改修
平成7年4月	旧教育研修所第2研修部が所属替により山口博物館の管理となる。
〃 7月	高齢者及び身障者安全対策設備（階段手摺り設置、車椅子設置、車椅子用便所に改修、車椅子階段昇降機設置（展示室））
平成8年4月	別館（旧教育研修所第2研修部）の改修整備
平成10年1月	教育用ロボットの更新（対戦型バスケットボール）
平成11年8月	天体ドームのリニューアル工事
〃 9月	1階入口ドアの改修（自動ドア）
平成12年2月	特別収蔵庫の改修
平成13年3月	2階展示室に監視カメラを設置
〃 7月	玄関タイルの改修、車椅子用階段昇降機（内階段）の設置
〃 12月	P C B対策のため照明器具の取替、先賢堂屋根の補修
平成15年3月	ホームページ用サーバー等設置（博物館情報発信環境整備事業）
〃 10月	別館廊下床改修
平成16年3月	エレベーターの全面更新、3階展示室壁面クロス貼替工事
〃 4月	長期研修教員2名配置（博学連携事業開始）
平成17年6月	燻蒸室改修工事
平成18年3月	ロボットコーナー改修工事（FANUC改修、AIBO設置）、本館屋上全面改修工事、展示室フロアーコンセント改修工事
〃 4月	長期研修教員1名増員（計3名）
〃 4月	本館火災報知設備改修工事、別館屋上雨漏り補修工事
〃 6月	考古歴史常設展示ケース改修工事
平成19年6月	特別展示室（旧講堂）空調設備改修工事
〃 12月	「未来都市模型」改修
平成21年3月	山口線シミュレータ改修
平成22年3月	ターボ冷凍機圧縮機全分解整備
〃 9月	高効率蛍光灯設置工事（環境政策課）
平成23年1月	3階理工展示室体験型展示資料更新（5点）
〃 3月	別館屋上太陽光パネル設置工事（環境政策課）
平成24年2月	開館100周年記念マスコットキャラクター（なっとくん）選定



「なっとくん」

平成24年 3 月	大規模施設改修と展示資料の更新（住民生活に光をそそぐ交付金） ○施設改修：1階収蔵庫・2階生物資料庫改修工事、別館屋上防水工事、ガス管交換工事、本館トイレ工事、段差解消機設置工事ほか ○展示資料の更新：2階理工ロボットコーナー更新、くらしのなかのサイエンスコーナー新設、地学展示室ティラノサウルス骨格複製レプリカ購入、植物・動物展示室全面更新、天文太陽系運行模型等更新、3階体験学習コーナー11点新設ほか 開館100周年記念式典を挙（3月27日）
平成24年 7 月	「山口博物館100年のあゆみ」刊行
平成25年 4 月	長期研修教員1名増員（計4名）
平成26年 3 月	本館屋上排水口拡張工事、本館外壁爆裂箇所修繕工事、本館屋上タイル修繕工事
〃 7 月	アスベスト対策工事のため休館
〃 9 月	給水管布設替え工事
平成27年 3 月	消防設備改修工事、本館屋上階段補修工事
〃 6 月	山口大学埋蔵文化財資料館と連携協力協定を締結
平成28年 1 月	ターボ冷凍機抽気装置改修
〃 5 月	アスベスト対策工事終了
〃 7 月	再オープン
〃 7 月	「松下村塾コーナー」を新設
平成29年 4 月	長期研修教員1名減（計3名）
〃 11 月	「JAXAコーナー」を新設
平成30年 4 月	明治150年を記念し、吉田松陰関係資料等を特集展示
〃 12 月	「ミニ維新体験館」を新設
平成31年 3 月	ターボ冷凍機分解整備
令和 2 年 3 月	別館屋上外壁改修工事（令和2年5月終了）
〃 3 月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（3月3日から3月26日まで）
〃 4 月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（4月14日から5月24日まで）
〃 5 月	「バーチャル博物館（ミュージアム）inやまはく」開設（HP上）
〃 7 月	「すごいおもちゃコーナー」新設（理工展示室）
令和 3 年 2 月	本館・別館トイレ洗面蛇口自動水栓改修
〃 2 月	「ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく」開設（文化庁事業：HP上）
〃 8 月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館（8月26日から9月26日まで）
〃 9 月	本館・別館トイレ自動照明改修
令和 4 年 3 月	「デジタル松下村塾」開設（歴史展示室等、3月18日）
〃 3 月	「バーチャル収蔵庫」開設（当館HP上、3月18日）
〃 3 月	「バーチャル山口博物館」開設（HP上のバーチャル展示を統合、3月18日）



JAXAコーナー



ミニ維新体験館



すごいおもちゃコーナー



ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく



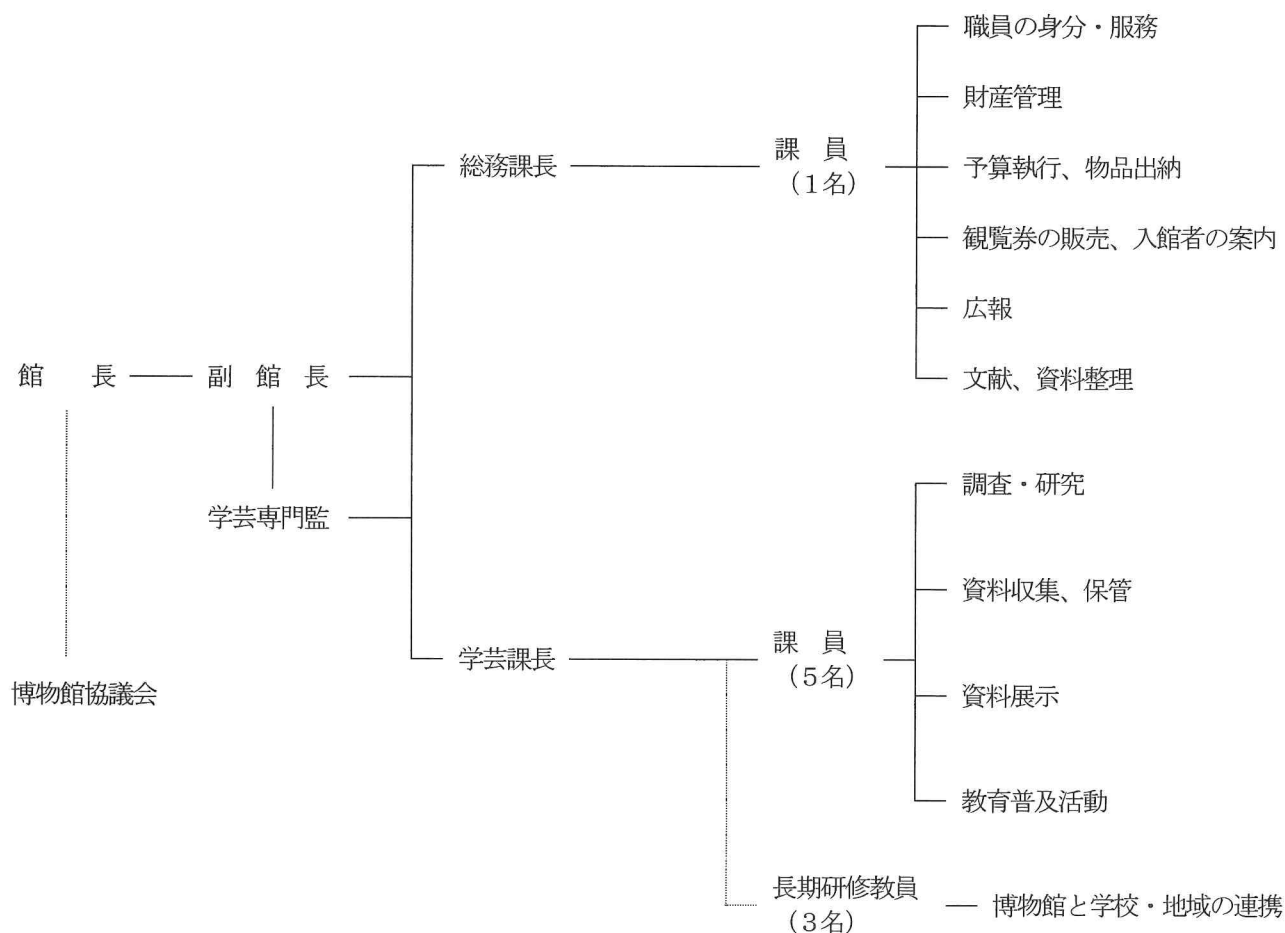
デジタル松下村塾



バーチャル収蔵庫

Ⅱ 管理運営概要

1 組 織



◎ 職員名簿（令和3年4月1日現在）

職 名	氏 名	事 務 分 掌
館 長	宮 地 理	館運営総括
副 館 長	棚 良 督	館運営総括補佐
学芸専門監（学芸員）	山 田 稔	学芸業務の総括、歴史
総 務 課 長	林 宏 昭	総務業務の総括、公印、人事、予算、歳入、広報
主 任	川 西 隆	歳出、業務委託、給与、旅費
学芸課長（学芸員）	杉 江 喜 寿	植物
主 査（学 芸 員）	荒 卷 直 大	考古
主 査（学 芸 員）	漁 剛 志	理工
主 任（学 芸 員）	岩 村 和 政	天文
主 任（学 芸 員）	赤 崎 英 里	地学
主 任（学 芸 員）	田 中 浩	動物
教 頭（長 研 教 員）	平 木 麻美子	博学地域連携
教 諭（長 研 教 員）	土 井 健	博学地域連携
教 諭（長 研 教 員）	岡 田 明 子	博学地域連携

2 敷地・建物の概要

庁舎敷地・管理分掌敷地 19,905.04 m²

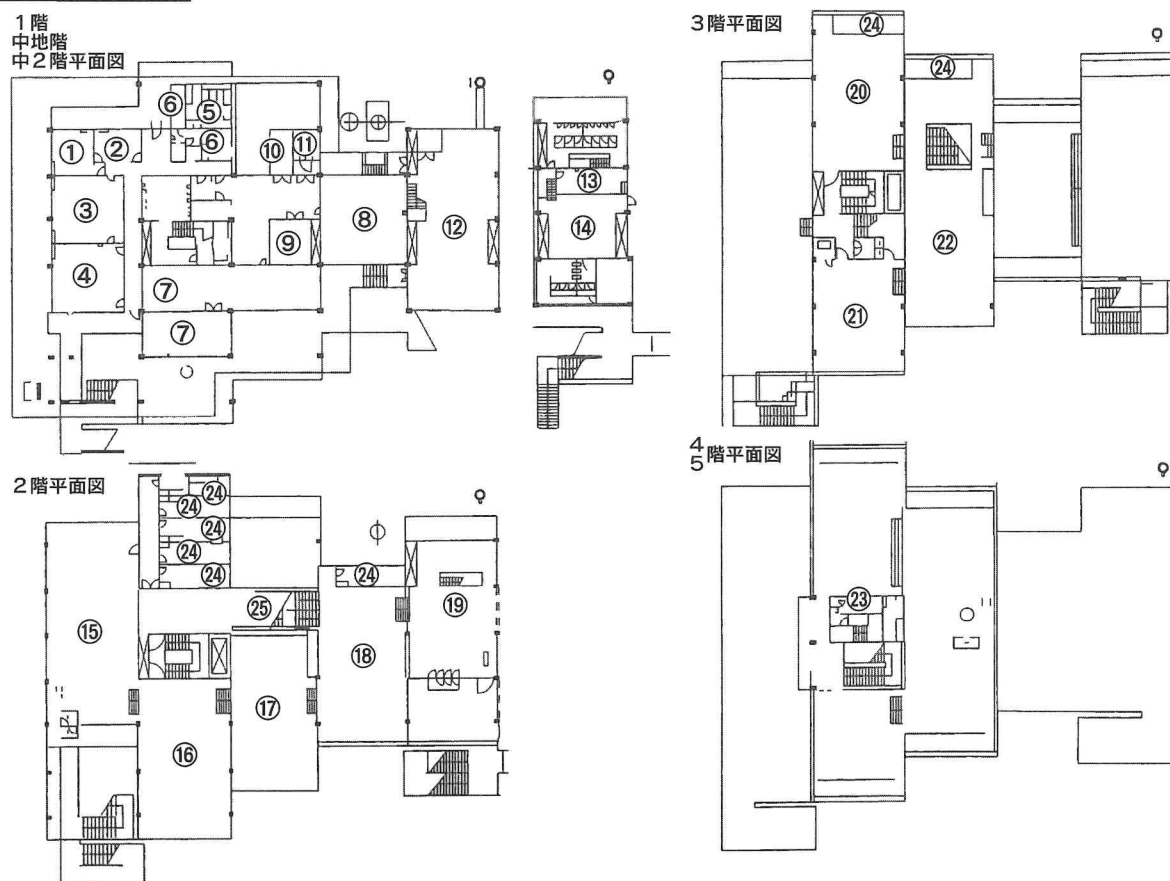
(1) 本 館

建 築 面 積 1,771.20 m²
 建 築 延 面 積 3,597.21 m²
 軒 高 19.050 m
 最 高 部 高 さ 22.250 m
 展 示 室 総 面 積 1,648.00 m²

構 造 概 要

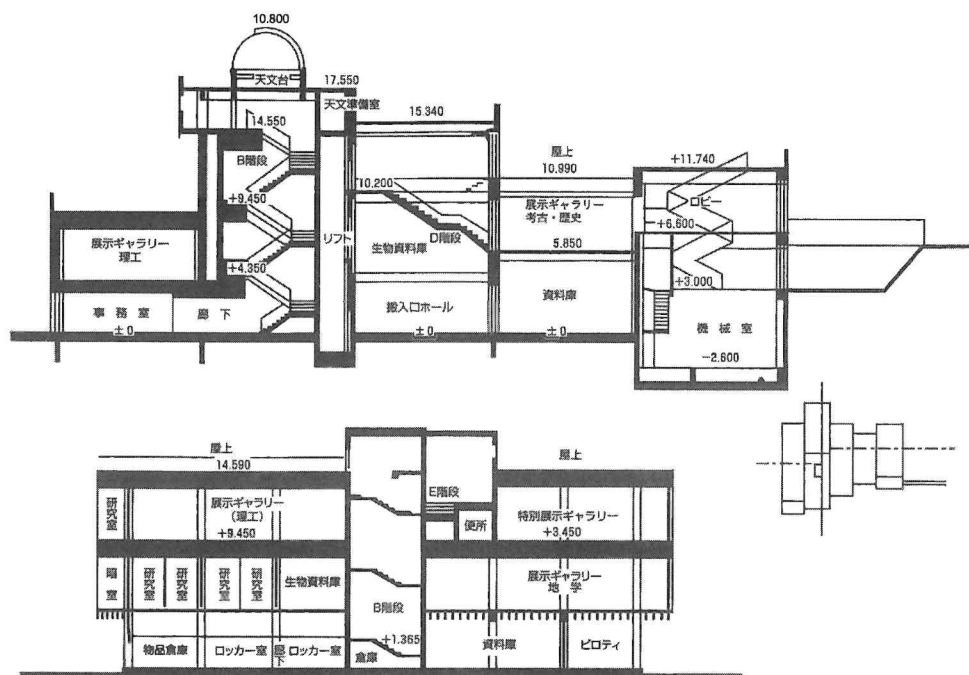
鉄筋コンクリート造り 地上5階
 地下1階（一部）
 竣 工 昭和42年3月
 開 館 昭和42年10月
 総工事費 約2億6,100万円

建物平面図



1. 館 長 室	25.92m ²	11. 燻 蒸 室	17.01m ²	21. 特別展示室	142.56m ²
2. 応 接 室	22.50m ²	12. 機 械 室	222.62m ²	22. 理工展示室	294.40m ²
3. 学 芸 課	69.26m ²	13. 技 師 室	27.72m ²	23. 観 測 室	79.92m ²
4. 総 務 課	69.26m ²	14. 電 気 室	66.42m ²	24. 研 究 室	152.10m ²
5. 会 議 室	29.16m ²	15. 理工展示室	259.20m ²	25. 生物資料庫	116.64m ²
6. 物 品 庫	25.16m ²	16. 地学 "	200.88m ²	そ の 他	686.13m ²
7. 収 蔵 庫	174.96m ²	17. 植物・動物 "	194.40m ²		
8. 資 料 庫	116.64m ²	18. 考古・歴史 "	200.88m ²		
9. 地学工作室	32.40m ²	19. 天文 "	180.72m ²		
10. 梱包材料庫	15.39m ²	20. 理工 "	174.96m ²	合 計	3,597.21m ²

建物断面図



山口博物館正面



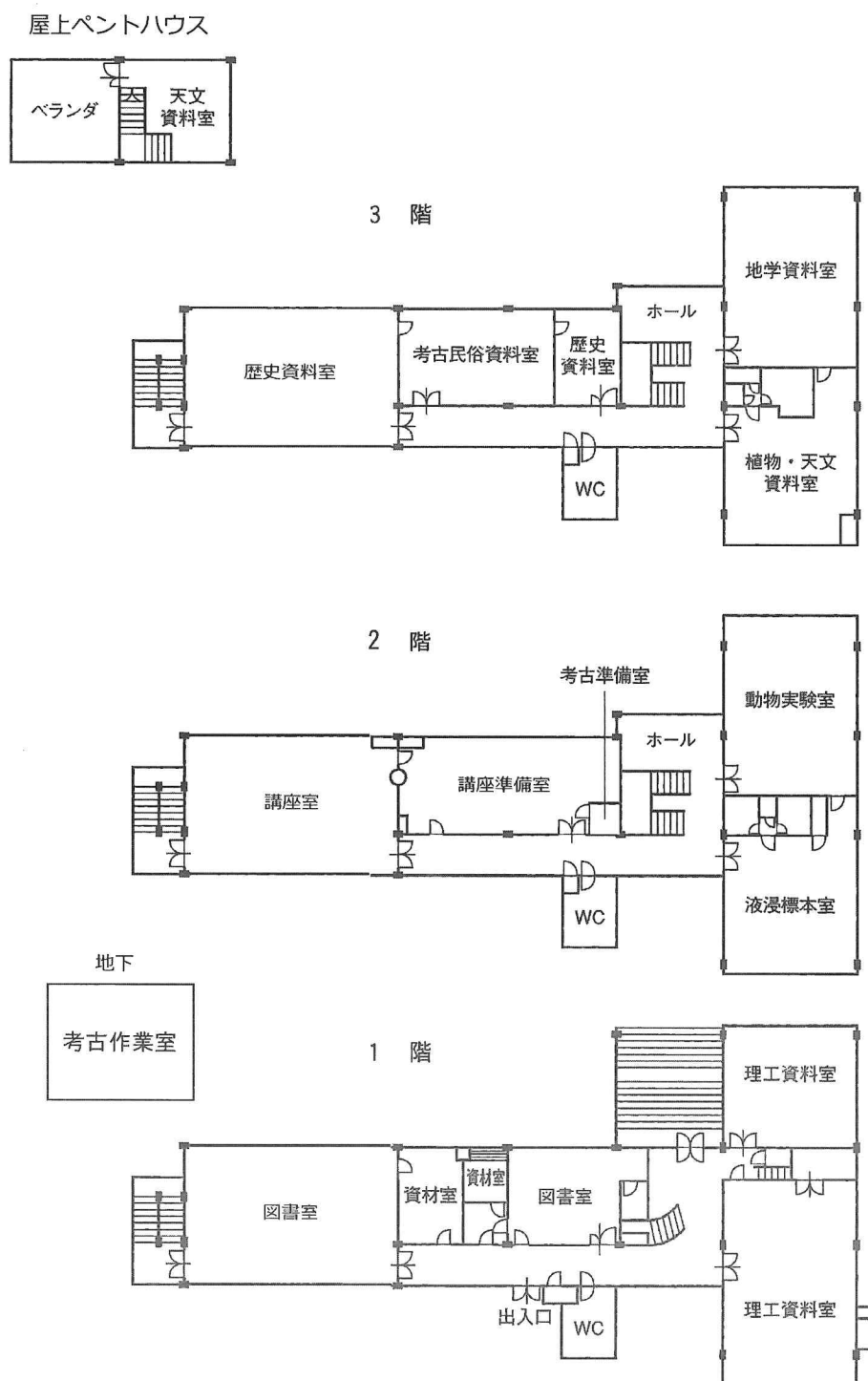
山口博物館全景（平成23年10月）

(2) 別館（旧山口県教育研修所第二研修部庁舎、昭和36年7月20日竣工）

建築面積 480.23㎡

建築延面積 1,566.3㎡

建物平面図



(3) 赤レンガ（旧維新記念室、大正6年竣工）

建築面積 157.02㎡

建築延面積 157.02㎡

(4) 防長先賢堂（昭和3年竣工）

建築面積 178.51㎡

建築延面積 178.51㎡

Ⅲ 令和３年度利用状況及び年次推移

(１) 総利用者数

【令和３年度】

入館者			計	教育普及	館内利用	館外利用	レファレンス	合計
常設展	特別展	サイエンス						
人	人	人	人	人	人	人	人	人
12,991	2,309	2,724	18,024	444	(219) 4,019	11,322	403	(30,412) 34,212

※（ ）は社会見学利用を除いた数

【年次推移（平成２８年度以降）】

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
入館者数	37,860 人	54,628 人	41,567 人	38,106 人	23,500 人	18,024 人
常設展	8,358 人	14,880 人	16,212 人	17,166 人	7,705 人	12,991 人
特別展	27,804 人	37,910 人	23,420 人	18,412 人	13,968 人	2,309 人
サイエンス	1,698 人	1,838 人	1,935 人	2,528 人	1,827 人	2,724 人
教育普及活動	1,513 人	1,478 人	2,091 人	1,647 人	422 人	444 人
レファレンス	493 人	569 人	516 人	450 人	436 人	403 人
出前授業等	24,260 人	30,468 人	21,106 人	23,302 人	10,953 人	15,341 人
計	64,126 人	87,143 人	65,280 人	63,505 人	35,311 人	34,212 人

※ 令和３年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため特別展開催期間中の８月２６日～ ９月２６日まで臨時休館した。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、特別展では主にオンライン予約制による入館者数制限、社会見学等では各展示室あたりの入館者数を 20 人程度に制限（11 月から一部緩和）、などさまざまな対策を実施した。（新型コロナウイルス感染拡大防止対策の詳細については、別途記載）

(２) 入館者の状況

【令和３年度】（個人・団体別）

区分	入館者								入館者合計	開館日数	入館者数 一日平均
	個人				団体						
	大人	大学生 高校生	小中学生	その他	大人	大学生 高校生	小中学生	その他			
常設展	4, 672	366 108	1, 780	2, 670	0	0 1	3, 013	381	12, 991	244	53
特別展	941	208 27	394	739	0	0 0	0	0	2, 309	16	144
サイエンス	951	12 19	632	491	0	0 0	562	57	2, 724	15	181

★特別展

「江戸時代の旅と街道」の概要

- 1 期 間
令和3年8月6日（金）から9月23日（火）16日間（月・火休館）
※ 8月26日（木）以降、臨時休館に伴い途中閉幕。
- 2 入館者数
2,309人 ※昨年13,968人（83.5%減）、一昨年18,412人（87.5%減）
- 3 入館料収入
1,073千円 ※昨年6,099千円（82.4%減）、一昨年4,334千円（75.2%減）
- 4 有料入館者率
49.5% ※昨年44.4%、一昨年24.3%
- 5 アンケート結果
「良かった」「とても良かった」が95%（昨年90%、一昨年95%）
- 6 状況

新型コロナウイルス感染策大防止のため、オンライン予約を優先とし、時間当たり入館者数を制限する中、県の新型コロナウイルス感染拡大防止集中対策としての、県外在住者への来館自粛要請や県民への不要不急の外出機会半減要請や、県有施設の休館に伴う特別展自体の中断・会期中での閉幕により、入館者数、入館料収入とも、昨年度に比べ大幅に減少した。

一方、観覧された方からは、「旅というテーマで特に地図にフォーカスした素晴らしい企画」、「展示物構成等展覧会の質の高さを感じた」、「動画が多く、行ってみたくなった」など、概ね好評をいただき、また、コロナ禍での開催に鑑み、初めて開設し、期間を令和4年3月末まで延長した特別展特設サイト上のYouTube 公式チャンネル（講座、各街道のみどころ等の映像を掲載）も、好評をいただいた。

★サイエンスやまぐち 2021

① 第75回山口県科学作品展の概要

- 1 期 間
令和3年10月29日（金）～11月14日（日）（15日間開催）
- 2 内 容

県内の各学校に出品された作品は、約33,300点（自然の部 約25,400点、創造の部約7,900点）であり、県内各学校及び各地区での審査を経て、県展に198点（自然の151点、創造の部47点）が出品された。入賞者の内訳は以下のとおり。

	出品点数	優秀賞	奨励賞	入選	佳作	入賞点数計
自然の部(小学校1・2年)	25	1	1	3	3	8
自然の部(小学校3・4年)	31	1	1	3	6	11
自然の部(小学校5・6年)	34	1	1	4	8	14
自然の部(中学・高等学校)	61	1	1	10	14	26
自然の部【総数】	151	4	4	20	31	59
創造の部【総数】	47	2	2	4	10	18

② 第75回山口県科学研究発表会の概要

- 1 開催日（審査日）
令和3年10月19日（火）

2 内 容

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、DVD による発表の審査のみ実施。

発表数は 18 件（小学校の部 12 件、中・高の部 6 件）で、入賞者の内訳は以下のとおり。

校種部別	発表数	優秀賞	奨励賞	入選
小学校の部	12	1	3	8
中・高の部	6	1	1	4

【特別展及びサイエンスやまぐち入館者数 年次推移（平成 20 年度以降）】

年度	特別展	入館者数（期間）	サイエンスやまぐち	入館者数（期間）
H20	ロボット展	30,121 人(20 日間)	サイエンスやまぐち ‘08	2,151 人(15 日間)
H21	タネたねワールド探検隊	11,073 人(27 日間)	サイエンスやまぐち ‘09	2,035 人(15 日間)
H22	やまぐち動物大百科展	20,210 人(34 日間)	サイエンスやまぐち ‘10	3,127 人(15 日間)
H23	恐竜～ダイナソーの世界～	45,624 人(28 日間)	サイエンスやまぐち ‘11	2,708 人(15 日間)
H24	大鉄道展	64,540 人(41 日間)	サイエンスやまぐち ‘12	2,327 人(15 日間)
H25	発見！産業アドベンチャー	12,186 人(40 日間)	サイエンスやまぐち ‘13	2,334 人(15 日間)
H26	テーマ展として実施		サイエンスやまぐち ‘14	1,703 人(14 日間)
H27	改修のため、特別展等は他館で開催		サイエンスやまぐち ‘15	1,150 人(15 日間)
H28	昆虫のふしぎな世界	27,804 人(40 日間)	サイエンスやまぐち ‘16	1,698 人(15 日間)
H29	アリスと大冒険 3Dふしぎ博物館	37,910 人(40 日間)	サイエンスやまぐち ‘17	1,838 人(15 日間)
H30	宇宙兄弟展 2018×やまぐちと宇宙	23,420 人(41 日間)	サイエンスやまぐち ‘18	1,935 人(15 日間)
R1	どきどき！ドローン・ワールド	18,412 人(28 日間)	サイエンスやまぐち ‘19	2,528 人(15 日間)
R2	生物の進化と恐竜ワールド	13,968 人(36 日間)	サイエンスやまぐち ‘20	1,827 人(15 日間)
R3	江戸時代の旅と街道	2,309 人(16 日間)	サイエンスやまぐち ‘21	2,724 人(15 日間)
平均（H26, 27, R3 の特別展を除く）		27,751 人		2,148 人

※平成 26～27 年度の特別展は、博物館改修のため他館で開催

【特別展】

H26	（テーマ展）きらり山口！人物伝	594 人	（7 日間、県政資料館）
H27	NHK 大河ドラマ特別展「花燃ゆ」	14,107 人	（34 日間、萩美術館・浦上記念館）
〃	（特別展）世界大恐竜展	80,245 人	（47 日間、県立美術館）

【サイエンスやまぐち】

H26	サイエンスやまぐち 2014	県政資料館
H27	サイエンスやまぐち 2015	県社会福祉会館

(3) 教育普及講座の実施状況

【令和3年度】

全参加者数	444 人
-------	-------

- ・予定していた26回の講座のうち、実施したのは22回（うち2回は悪天候、2回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため）
- ・詳細については、「令和3年度事業概要 4 教育普及」に記載

【年次推移（平成28年度以降）】

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均
参加者数	1,513 人	1,478 人	2,091 人	1,647 人	422 人	444 人	1,266 人

(4) 博物館学校地域連携教育支援事業の実施状況

【令和3年度】

博物館学校地域連携教育支援事業 利用者数集計表（対象別内訳）

【年間計】

館内利用			幼保	小	中	高・大	教員※	保護者	地域	引率※	計
A 社会見学	学校	人	84	2,983	368	1	35	31	0	252	3,754
		団体	2	56	11	0	3	0	0	—	72
	地域	人	1	31	4	0	0	0	0	10	46
		団体	—	—	—	—	—	—	3	—	3
B 館内授業	学校	人	0	140	54	0	0	0	0	25	219
		団体	0	4	5	0	0	0	0	—	9
	地域	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		団体	—	—	—	—	—	—	0	—	0
C 職場体験	学校	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域	人	—	—	—	—	—	—	0	—	0

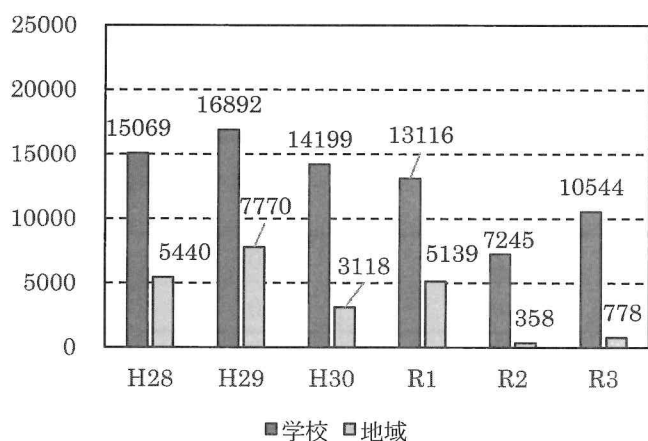
館外利用			幼保	小	中	高・大	教員	保護者	地域	引率※	計
A 出前授業	学校	人	24	2,674	96	12	55	81	29	348	3,319
		団体	1	157	9	0	1	0	0	—	168
	地域	人	109	379	0	0	0	201	28	41	758
		団体	—	—	—	—	—	—	29	—	29
B 教材貸出	学校	人	17	1,025	6,017	0	29	15	0	122	7,225
		団体	0	12	24	0	1	0	0	—	37
	地域	人	0	15	0	0	0	0	0	5	20
		団体	—	—	—	—	—	—	1	—	1
C 移動展示	学校	人	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域	人	—	—	—	—	—	—	0	—	0

※令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「移動展示」及び一部の授業は中止

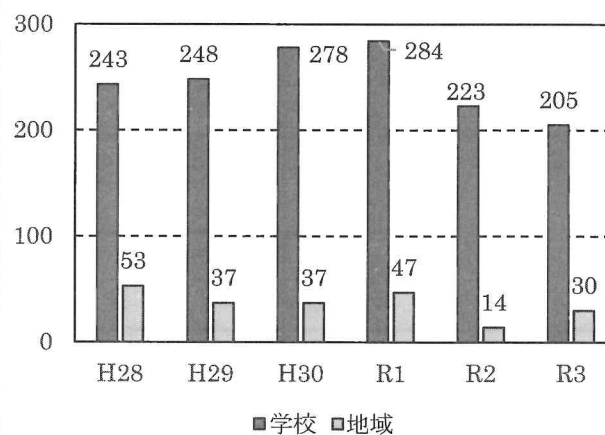
【年次推移（平成28年度以降）】

年 度			H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用者総数			24,260	30,468	21,106	23,302	10,953	15,341
利用団体総数			386	446	456	530	329	319
学校	館内利用	利用者数	3,751	4,991	3,602	3,814	3,153	3,973
		利用団体数	90	140	137	151	74	81
	館外利用	利用者数	15,069	16,892	14,199	13,116	7,245	10,544
		利用団体数	243	248	278	284	223	205
地域	館内利用	利用者数	0	815	187	1,233	197	46
		利用団体数	0	21	4	48	18	3
	館外利用	利用者数	5,440	7,770	3,118	5,139	358	778
		利用団体数	53	37	37	47	14	30

館外利用（出前授業等）の
実績（人数）



館外利用（出前授業等）の
実績（団体数）



教員のための博物館の日（落款印づくり体験）



出前授業（ドローンプログラミング教室）

(5) 資料・写真の貸出等（展覧会・講座等）

【令和3年度】

件数（件）	139
-------	-----

【年次推移（平成28年度以降）】

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均
件数（件）	185	218	245	156	130	139	179

(6) レファレンスその他の実施状況

【令和3年度】

件数（件）	403
-------	-----

(分野別)

	天文	地学	植物	動物	考古	歴史	理工	合計
件数（件）	28	15	60	167	29	72	32	403

【年次推移（平成28年度以降）】

年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平均
件数（件）	493	569	516	450	436	403	478

(7) ホームページアクセス件数（アクセス件数の記録は平成29年度以降）

【令和3年度】

件数（件）	142,570
-------	---------

【年次推移（平成29年度以降）】

年度	H29	H30	R1	R2	R3	平均
件数（件）	124,571	115,225	107,547	134,568	142,570	124,896

(8) やまはくスタンプラリー2021

新型コロナウイルス感染症拡大のため中止（2019年度のみ実施）

(9) 2021年度の新型コロナウイルス感染症への対応について

2021年度の新型コロナウイルス感染症への対応の詳細については、当館研究報告第47号（2022年3月30日発行）P15～P22「新型コロナウイルス感染症の感染症拡大による山口博物館の運営への影響と対応 2021」を参照のこと。

Ⅳ 令和3年度事業概要

1 資料の収集・保管

(1) 収蔵資料数(令和4年3月31日現在)

部門	天文	地学	植物	動物	理工	考古	歴史	その他	合計
資料数	281	4,929	214,664	130,185	1,072	4,817	4,732	4,841	365,521
前年度 増 減	0	13	339	621	0	0	10	0	983

(2) 新着資料(令和3年度)

部門	資 料 名	数量	寄贈者・購入先
植物	腊葉標本 ※登録及び保管処理済のみ	306点	寄贈(林 正典氏)
		16点	寄贈(秋丸 浩毅氏)
		12点	寄贈(眞崎 久氏)
		3点	寄贈(上田 洋史氏)
		2点	寄贈(永井 要明氏)
地学	黄銅鉱	13点	寄贈(南部 正樹氏)
動物	ホッキョクグマ剥製	1点	寄贈(山下 正信氏)
	タイマイ剥製他	2点	寄贈(松崎 洋氏)
	ツキノワグマ剥製他	16点	寄贈(吉田 久子氏)
歴史	周布政之助詩書他	9点	寄贈(渡邊 くるみ氏)
	馬足洗桶 沢瀉紋入り	1点	寄贈(宍道 晃氏)



特別収蔵庫 ①



特別収蔵庫 ②



動植物収蔵庫(生物資料庫) ①



動植物収蔵庫(生物資料庫:植物) ②

(3) 収蔵資料数の年次推移（平成24年（2012年）度より）

	平成 24年 (2012)	平成 25年 (2013)	平成 26年 (2014)	平成 27年 (2015)	平成 28年 (2016)	平成 29年 (2017)	平成 30年 (2018)	令和 元年 (2019)	令和 2年 (2020)	令和 3年 (2021)
天文	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)	— (281)
地学	3 (4, 853)	9 (4, 862)	3 (4, 865)	- (4, 865)	5 (4, 870)	43 (4, 913)	2 (4, 915)	1 (4, 916)	— (4, 916)	13 (4, 929)
植物	2, 254 (206, 073)	3, 417 (209, 407)	2, 657 (212, 147)	1, 150 (213, 297)	378 (213, 675)	116 (213, 791)	269 (214, 060)	97 (214, 157)	168 (214, 325)	339 (214, 664)
動物	197 (111, 185)	213 (111, 398)	2, 380 (113, 778)	3, 652 (117, 430)	6, 594 (124, 024)	2, 658 (126, 682)	1, 538 (128, 220)	758 (128, 978)	586 (129, 564)	621 (130, 185)
理工	144 (1, 044)	21 (1, 065)	1 (1, 066)	4 (1, 070)	1 (1, 071)	— (1, 071)	— (1, 071)	1 (1, 072)	— (1, 072)	— (1, 072)
小計	2, 598 (323, 436)	3, 660 (327, 096)	5, 041 (332, 137)	4, 806 (336, 943)	6, 978 (343, 921)	2, 817 (346, 738)	1, 809 (348, 547)	857 (349, 404)	754 (350, 158)	973 (351, 131)
考古	— (4, 817)	— (4, 817)	— (4, 817)	— (4, 817)	— (4, 817)	— (4, 817)	— (4, 817)	— (4, 817)	— (4, 817)	— (4, 817)
歴史	90 (3, 689)	859 (4, 548)	81 (4, 629)	27 (4, 656)	— (4, 656)	1 (4, 657)	65 (4, 722)	— (4, 722)	— (4, 722)	10 (4, 732)
美術 工芸	— (1, 699)	— (1, 699)	— (1, 699)	— (1, 699)	— (1, 699)	— (1, 699)	— (1, 699)	— (1, 699)	— (1, 699)	— (1, 699)
民俗	— (3, 142)	— (3, 142)	— (3, 142)	— (3, 142)	— (3, 142)	— (3, 142)	— (3, 142)	— (3, 142)	— (3, 142)	— (3, 142)
小計	90 (13, 257)	859 (14, 206)	81 (14, 314)	27 (14, 314)	— (14, 314)	1 (14, 315)	65 (14, 380)	— (14, 380)	— (14, 380)	— (14, 390)
合計	2, 688 (336, 783)	4, 519 (341, 302)	5, 122 (346, 424)	4, 833 (351, 257)	6, 978 (358, 235)	2, 818 (361, 053)	1, 874 (362, 927)	857 (363, 784)	754 (364, 538)	983 (365, 521)

(4) 館蔵指定文化財一覧（寄託品を含む）

No.	指定 区分	種別	資料名	点数	指定年月日	所蔵者
1	国	絵画	絹本着色毛利元就像	1 幅	昭和 44 年 6 月 20 日	豊栄神社
2	国	絵画	絹本着色仁王経曼荼羅図	1 幅	昭和 53 年 6 月 15 日	神上寺
3	国	工芸品	太刀 銘口友 伝助友	1 口	大正元年 9 月 3 日	野田神社
4	国	歴史 資料	防長土図 附長持並櫃	109 個	平成 5 年 1 月 20 日	山口県
5	国	歴史 資料	正徳元年朝鮮通信使進物並進物目録 附長持	106 点	平成 5 年 6 月 10 日	山口県
6	県	彫刻	能面	10 面	昭和 41 年 6 月 10 日	正八幡宮
7	県	絵画	絹本着色大庵須益和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
8	県	絵画	絹本着色全岩東純和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
9	県	絵画	絹本着色桃岳瑞見和尚像	1 幅	昭和 45 年 4 月 1 日	瑠璃光寺
10	県	絵画	絹本着色釈迦十六善神像 付納箱	1 幅	昭和 60 年 10 月 29 日	極楽寺
11	県	絵画	紙本着色尼子経久像	1 幅	昭和 49 年 11 月 8 日	山口県
12	県	絵画	絹本着色尼子晴久像	1 幅	昭和 49 年 11 月 8 日	山口県
13	県	工芸品	鰐口	1 口	昭和 55 年 4 月 11 日	名田勝子
14	県	考古 資料	茶臼山古墳出土品 画文帯神獸鏡	1 面	平成 7 年 1 月 13 日	山口県
15	県	書跡	手鑑「多々良の麻佐古」	1 帖	令和元年 12 月 6 日	山口県
16	県	考古 資料	御山神社経塚出土品	20 点	昭和 49 年 11 月 8 日	御山神社
17	県	歴史 資料	紙本着色毛利敬親山口新御屋形入居奉祝図	1 面	平成 29 年 5 月 9 日	野田神社
18	県	考古 資料	赤妻古墳出土の舟形石棺	1 基	平成 5 年 5 月 14 日	山口県
19	山口市	彫刻	木造獅子頭 付納箱	1 頭	平成 8 年 2 月 15 日	朝倉八幡宮
20	岩国市	古文書	出師の檄及び長州征伐の記録	1 枚	昭和 50 年 10 月 8 日	讃井知明

(5) 資料の貸出・資料の特別利用の状況(令和3年度)

・資料の貸出

No.	資料名	点数	貸 出 先	期間 (会期)
1	尼子氏伝来具足、脇差 長州住頭国ほか	6	山口県立美術館	4/15～6/13
2	重要文化財 絹本着色毛利元就像 (寄託資料)	1	安芸高田市歴史民俗博物館	10/23～12/5
3	大内義弘像、大内義興像	2	益田市立雪舟の郷記念館	11/10～12/6
4	絹本着色尼子晴久像、安芸国吉田郡山城古図	2	下関市立歴史博物館	9/17～11/7
5	紙本着色尼子経久像、毛利元就感状	2	下関市立歴史博物館	11/10～12/6
6	槍 桐紋螺鈿拵、毛利敬親像	2	萩博物館	10/2～12/26 (展示替え有)
7	古銅花入 (寄託資料)	1	長登銅山文化交流館	3/15～3/21
8	片山古墳出土 杏葉	1	山口大学埋蔵文化財資料館	3/22～7/15

※令和2年度貸出実績は、3 件

・資料の特別利用 (資料画像データの出版等への利用)

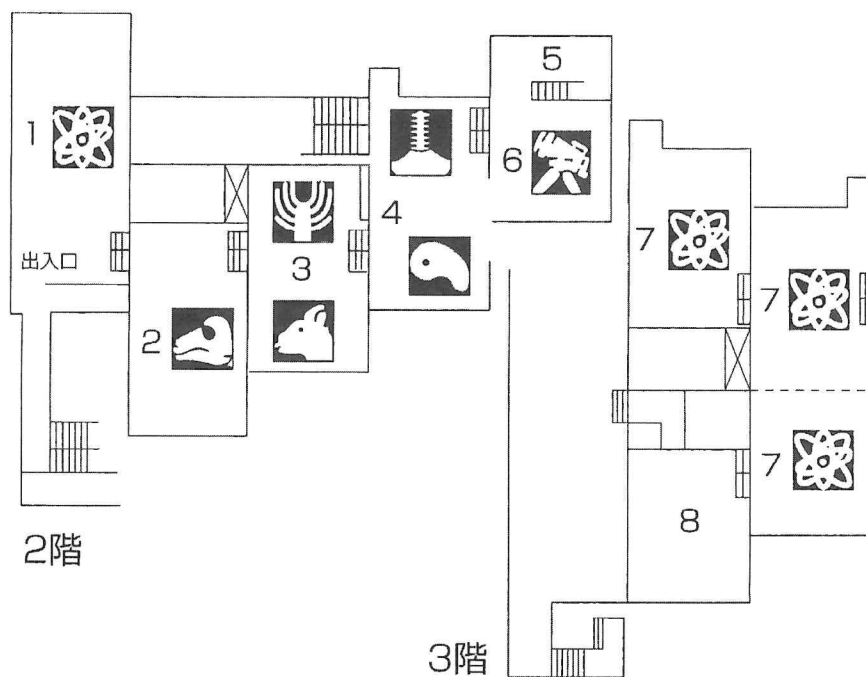
部門	天文	地学	植物	動物	理工	考古	歴史	その他	合計
件数	2	5	2	1	1	9	110	2	132
前年度増減	0	△2	1	1	0	6	△6	2	△2

※令和2年度特別利用実績は、130 件

2 資料展示

(1) 展示室案内

1. 2階理工展示室
2. 地学展示室
3. 植物・動物展示室
4. 考古・歴史展示室
5. ロビー
(学習コーナー)
6. 天文展示室
7. 3階理工展示室
8. 特別展示室



展示室風景

(2) 常設展示

・令和3年度に変更・追加した資料

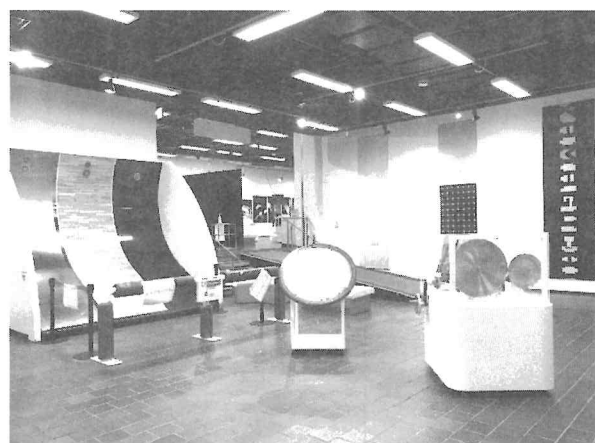
分野 (展示場所)	資料名	概要	時期
理工	「すごいおもちゃコーナー」第2期 (2階)	県内企業の卓越したものづくり技術で製作した子どもたちが大好きな玩具等を展示。 水がもれないトラック (株)アクシス (下関市))、TETSU-ORIGAMI (テツオリガミ) (有新興製作所 (下関市))、脱出! アリの巣型3D迷路 (株)伸和精工 (宇部市))、チタントンボ (株)ひびき精機 (下関市)) の玩具4点及び各社の技術力を紹介する展示約50点	9月
	JAXAコーナー (3階)	写真及びイラストパネル5枚追加	3月
地学	クジャク石から銅を取り出そう動画	砕いて粉末状にしたクジャク石を酸化・還元して単体の銅を取り出す実験動画	4月
	花崗岩の薄片製作・偏光顕微鏡像動画	展示物である黒髪島の花崗岩の薄片を製作する様子と偏光顕微鏡で観察する様子をまとめた動画	10月
植物	なっとくんの「緑のたより」「季節のたより」	身近な植物を画像やクイズなどで紹介	通年
	花巡り (県外編)	近隣県の貴重な植物を画像・映像で紹介	9月
	植物ニュース	山口県の植物の記事などを紹介	通年
動物	昆虫標本9箱	昆虫解説標本を新展示	7月
	サポちゃん通信	動物サポーターの活動報告	年2回
考古	杏葉	山口市大内御堀馬塚古墳出土	R2.3月
歴史	明治維新関係資料展示 ① 毛利敬親関係資料 ② 周布政之助・木戸孝允関係資料 ③ 吉田松陰関係資料 防長の絵図	特集展示「明治維新と長州藩」として、関係資料を随時展示替え。 萩城下町絵図、行程記、芸州吉田郡山絵図ほか	通年
天文	なっとくんの天文ニュース	年4回、天文に関わるニュースの更新	通年
	JAXAコーナー	映像の更新	3月

■ 2階理工展示室



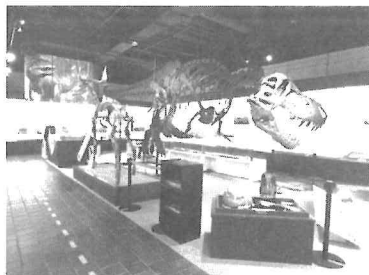
主題	内容	展示資料
ロボットコーナー	車の組み立てや薬剤の仕分けなど行う産業用のロボットの動きを、5つの楽しいパフォーマンスで紹介する。また、かわいらしい動きをするコミュニケーションロボットのプログラミングを通して、ロボット制御を体験する。	垂直多関節形ロボット、スタンプロボット、コミュニケーションロボット 6点
ミニ維新体験館	明治150年プロジェクト「やまぐち未来維新」の中核イベントとして開催した「山口ゆめ花博」会場で好評だった「維新体験館」のVR（バーチャルリアリティ）映像などの主なコンテンツを「ミニ維新体験館」として設置した。	幕末維新回廊プロモーションビデオ、松陰先生からのメッセージ、疾風怒濤の歴史ドラマ、VRで参加する幕末・維新の名場面3点。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、操作体験は不可とした。
すごいおもちゃコーナー	県内企業の卓越したものづくり技術で製作した子どもたちが大好きな玩具等を展示。	水がもれないトラック、TETSU-ORIGAMI（テツオリガミ）、脱出！アリの巣型3D迷路、チタントンボの玩具等約50点
くらしのなかのサイエンス	私たちの生活を支えている科学の中から、「発熱」「発光」「発電」の3つのエッセンスを取り上げ、収蔵資料と現在の製品の展示を通して科学技術の進化を紹介する。	小型ロボット「ムッシュ君」、炊飯器カットモデル、有機ELテレビ等実物資料、レプリカなど約10点
山口県の産業技術史	山口県の地質や地理的要因を踏まえながら山口県で発展した産業を紹介する。また、日本の近代産業化に貢献した県出身者の業績もあわせて紹介する。	「明治日本の産業革命遺産」紹介映像、D51137機関車模型、凌雲閣エレベータ模型、耐熱フィルム、耐熱繊維コーネックスなど15点
未来都市模型	太陽光発電や風力発電など環境にやさしい石油代替エネルギーの紹介や未来の乗り物の操作体験。	リニアモーターカー、太陽光導入システム、太陽光発電大賀模型、石油代替エネルギー解説装置

■ 3階理工展示室



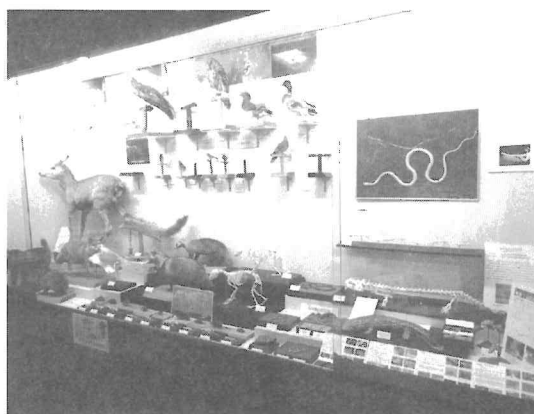
主題	内容	展示資料
体験学習コーナー	子どもから大人まで楽しめるシンプルで独創的なアナログ体験資料で体や頭を使って、楽しみながら自然界や法則や原理を体験。	スイングバイテーブル、どれくらいテーブル、ゾートロープなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策が講じられた体験展示資料。
JAXA コーナー	JAXA 提供の人工衛星や宇宙利用・宇宙開発関係の写真やイラストを展示。また人工衛星などの館蔵資料もあわせて展示。	写真及びイラストパネル 13 枚 、人工衛星模型。
山口線運転シミュレータ	実物機器を備えたディーゼルカーの運転席でハンドルやブレーキを操作することができ、操作にともない、山口線ワイドパノラマ映像のスピードや音が変化することで、本物と同様の列車運転が体験できる。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、操作体験は不可とした。

■ 地学展示室



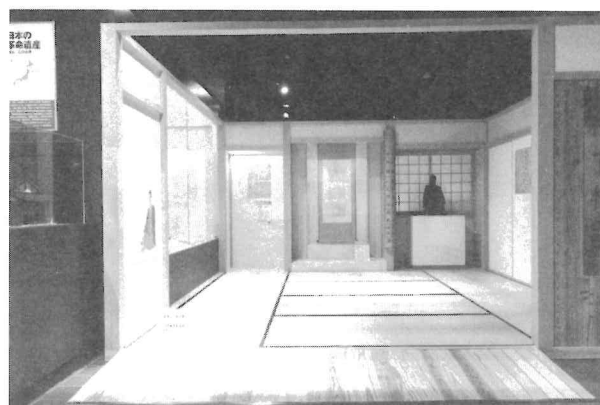
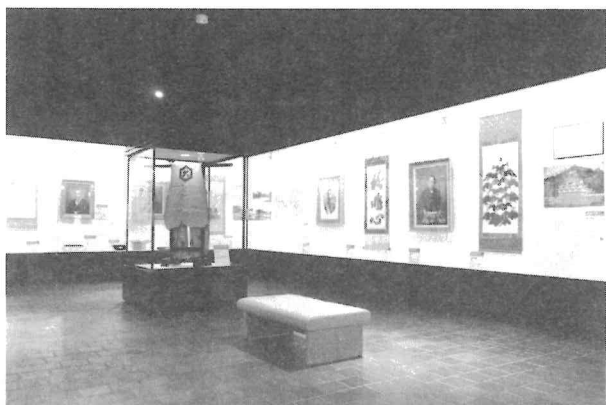
主題	内容	展示資料
山口県の大地の生い立ち	古生代の山口県のように紹介。 中生代の山口県のように紹介。 新生代の山口県のように紹介。	県内最古の岩石 2 点、海底火山の岩石 1 点、ウミユリなどの化石を含む石灰岩 25 点 美祢層群産化石資料など 16 点、火成岩資料 9 点、周防変成岩 5 点、領家変成岩 3 点 スサガメなど化石資料 23 点、ホルンフェルスなど岩石資料 5 点
地球の歴史	地球の誕生 生命の誕生 真核生物の誕生 酸素の発生 多細胞生物の誕生 魚類の時代 両生類の時代 森林の時代 は虫類の時代 鳥類の時代 ほ乳類の時代	隕石 1 点、最古の岩石 2 点 ピルバラのチャート 1 点 グリパニア 1 点 縞状鉄鉱石 1 点 エディアカラ生物（複製）5 点 バージェス動物（複製）2 点 クラウドイナ、クックソニア各 1 点 シーラカンス、ボトリオレピス、アcantーデス各 1 点 ディスコサウリスキス 1 点 ロボク、リンボク、フウインボク各 1 点 ディメトロドン（複製）、ブラジオサウルス、プレシオサウルス（複製）、コンプソグナトゥス（複製）、ステゴサウルス（模型）、トリケラトプス（模型）、ティラノサウルス（複製）各 1 点 始祖鳥（複製）1 点 ヤベオオツノジカ（複製）1 点、ヒト頭骨（複製）5 点
その他	山口県の石 山口県の地震 山口県の火山 山口県の岩石 タッチ化石 おたのしみ鉱物 主に顕生代における生物の出現と絶滅、大陸移動について記した年表 やまぐちの大地の成り立ちアニメ クジャク石から銅を取り出そう動画	石灰岩 1 点、美祢層群の植物化石 1 点、銅鉱石 1 点 プレート模型 2 点 火山岩 3 点、火山弾 7 点、かんらん石 1 点 「山口県の岩石図鑑」標本 282 点 恐竜実物化石 2 点 鉱物 6 点 地球史年表（生物の進化編） モニタ モニタ、パネル

■ 植物・動物展示室



主題	内容	展示資料
山口県植物相のなりたち	県内植物の4つのルーツを示すとともに、帰化植物の現状を紹介する。	レプリカ、標本など約30点
山口県の動物	山口県内に生息する代表的な昆虫類・鳥類・爬虫類・両生類・哺乳類類を紹介する。	昆虫類標本約1,000点、鳥類・哺乳類剥製30点、両生類・爬虫類レプリカ30点、剥製1点
山口県の植物	山口県内各地や博物館周辺の植物の情報を画像や映像、解説、4コマ漫画などで紹介する。	緑のたより（山口県版、博物館周辺版他）、緑の小話、季節のたより、花巡り（県外編）植物ニュース、植物クイズなど
山口県の植物・動物ジオラマ	山口県の特徴的な植物相（フローラ）・動物相（ファウナ）を6シーン1/1のジオラマで紹介する。 ・海浜 ・市街地 ・河岸・ため池 ・草地 ・里山 ・深山	・ハマボウ・ハマオモト他 全5種 ・イソシギ・カブトガニ他 全8種 ・コバンソウ・マツヨイグサ他 全8種 ・ミシシippアカミミガメ他 全7種 ・キシツツジ・ホテイアオイ他 全7種 ・アカザ・カワセミ・マシジミ他全20種 ・アカネスゲ・オキナグサ他 全7種 ・ニホンアナグマ・キジ他 全5種 ・スダジイ・ギンリュウソウ他 全19種 ・タヌキ・モリアオガエル他 全32種 ・ブナ・カタクリ他 全12種 ・ツキノワグマ・ヤマネ他 全24種 植物合計61種 動物合計96種

■ 考古・歴史展示室



主題	内容	展示資料
はじめての考古学	小・中・高等学校の教科書にも登場する縄文・弥生・古墳時代の考古資料を中心にわかりやすく展示・解説している。	板状土偶、石棒、石鏃、磨製石斧、石包丁、銅鏡、馬具、短甲、勾玉、紡錘車、須恵器、耳環（展示替えあり）
明治維新と長州藩	明治維新関係資料を特集展示。特に、松下村塾コーナーでは、門下生関係資料を随時紹介。	萩城下町図屏風、毛利氏歴代肖像、毛利敬親肖像、来島又兵衛肖像、周布政之助所用陣羽織・袴、吉田松陰書簡、木戸孝允所用硯箱ほか（展示替えあり）
防長の絵図	館蔵の防長関係絵図を紹介	萩城下町絵図、行程記、芸州吉田郡山絵図

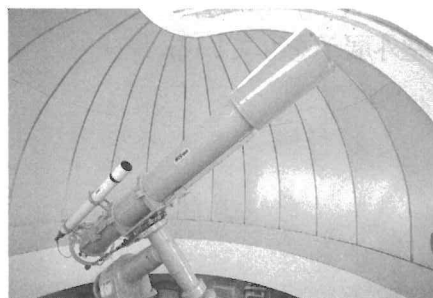
■ 天文展示室



主題	内容	展示資料
太陽系運行模型	8つの惑星が実際の公転時間の比率どおりに、太陽の周りを回り、各惑星の特徴についても、画像を使いわかりやすく解説する。	動く惑星の模型（直径4m）、モニター12台
太陽系と隕石	太陽系が生まれて、現在の姿になるまでの歴史をたどるとともに、隕石についても解説する。	隕石12点（うち2点は山口県内落下の隕石）、隕石レプリカ2点、写真5点、イラスト5点、珓珓隕石投影装置
宇宙の構成	太陽系・銀河系・銀河系外の宇宙へと、スケールを変えて繋がる宇宙の広がりを紹介する。	惑星等の模型9点、写真13点、イラスト5点、フーコーの振り子
天文学の歴史	山口博物館が収蔵している天体観測機器など、天文学史に関する資料を展示。	山口博物館の収蔵資料（実物）3点、写真7点
天文ニュース	日食、惑星、季節の星座など天文現象に関する話題・予報をイラスト・写真等を使用し、紹介する。	主な天文現象の解説記事6点
山口の星空	山口県から見ることのできる星空を、大型蛍光星座板で展示。	2.6m×7.5mの大型蛍光星座板
JAXA コーナー	JAXA 提供の月面及び小惑星探査機（はやぶさ2）帰還の映像を大型ディスプレイで上映する。	モニター（55インチ）

■ 天体観測室

本館の4,5階が天体観測準備室、天体観測室（アストロ光学 5mドーム）となっている。20cm屈折赤道儀（ニコン社製）を設置し、天体部門の教育普及活動・調査研究に使用している。



■ 屋外展示

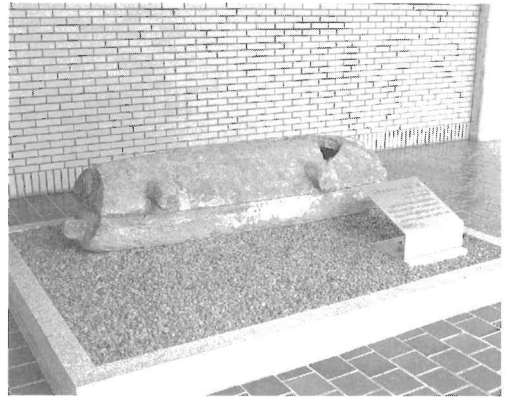
<考古分野>

- | | | | |
|-----------|---------|--------|-----|
| ○ 縄文アラカシ | 佐賀県坂の下 | (縄文時代) | 1 点 |
| ○ 箱式石棺 | 山口市大内川向 | (弥生時代) | 1 基 |
| ○ 箱式石棺 | 山口市赤妻 | (古墳時代) | 1 基 |
| ○ 大阪城築城石材 | 周南市大津島 | (江戸時代) | 1 点 |

- 山口市赤妻古墳出土の^{くりぬき}刳抜式舟形石棺
1908（明治 41）年の土取作業時に発見された。山口県下唯一の例で、1993（平成 5）年に県の有形文化財に指定。

巨大な砂岩を刳抜いて作られたもので、全長 231 cm、最大幅 98 cm、全高 60 cm、蓋に 4、身に 2（うち 1 欠損）の縄掛突起を持っている。

山口盆地を統率した女性首長の棺と推定されている。



- 山口市白石茶臼山石棺群

遺跡は山口盆地中央部に延びる鴻ノ峰山麓南支丘末端部、標高約 35m の位置に立地していた。1968（昭和 43）年の住宅造成中に総数 9 基の箱式石棺が発見され、調査後、すべての遺構が当館敷地に移築復元された。弥生時代終末期～古墳時代前期における墳墓形態の変遷が見学できる。



<理工分野>

- D60 形式 1 号機関車

この機関車は、1927（昭和 2）年に川崎造船所で誕生し、東海道本線や山陽本線などで活躍していた D50 型機関車の改造車で山口県の旅客・貨物輸送を最後に 1966（昭和 41）年廃車になった。

博物館では、この由緒ある機関車を 1968（昭和 43）年 9 月に当時の国鉄から借り受け、屋外展示をしている。



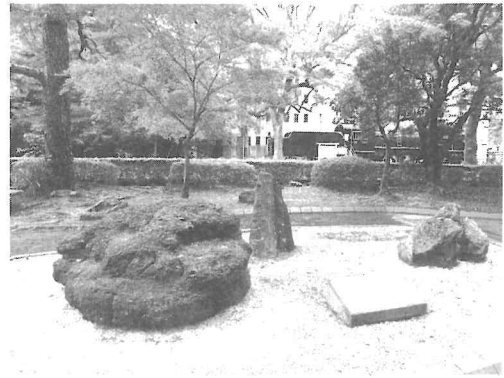
<地学分野>

○山口県の化石

特牛の貝化石（新生代） 下関市
吉母の貝化石（中生代） 下関市
秋吉台の石灰岩（古生代） 美祢市

○山口県の岩石

斑れい岩（萩市）、安山岩（萩市）、凝灰岩（萩市）、花崗岩（山口市）、砂岩（美祢市）、泥岩（下関市）、石灰岩（美祢市）、チャート（岩国市）、片岩（山口市）、片麻岩（岩国市）



<植物分野>

○ 樹木プレート

博物館の敷地内とその周辺（春日山）の散策路に代表的な樹名の解説プレートを47枚（2018年度末現在）設置して、樹木の名前と簡単な特徴の解説をしている。



江戸時代の旅と街道

1 趣旨

江戸時代の周防・長門国（今の山口県）では、萩往還、山陽道（西国街道）、赤間関街道、石州街道、山代街道など複数の街道により領国全域を覆う道路網が整備され、多くの人々や様々な物資が行き交いました。

本展は、これら江戸時代のさまざまな旅の姿や、交通の基盤としての街道を、美しい絵図と豊富な歴史資料で紹介します。展示解説では、映像や二次元バーコードを利用し、多彩な情報を提供します。

さらに、「絵図を片手に街を歩こう」をはじめとした街歩きイベントを通して、展示室の内と外と連携させ、まちなか博物館空間を構成します。ウィズコロナの時代に対応した新しいスタイルの展覧会をお楽しみください。

2 主催

山口県、山口県教育委員会、「江戸時代の旅と街道」実行委員会（山口県立山口博物館、公益財団法人山口県ひとづくり財団、地方独立行政法人山口県産業技術センター、KRY山口放送、山口新聞社）

3 協力

山口県文書館、山口県立山口図書館、山口ゆめ回廊博覧会実行委員会、公益財団法人毛利報公会 毛利博物館、一般社団法人山口県観光連盟、山口ケーブルビジョン株式会社、赤間関街道中道筋連絡協議会、岩国往来まちづくり協議会、やまぐち萩往還語り部の会、吉敷地区地域づくり協議会、やまぐち歴食研究会

4 後援

NHK山口放送局、株式会社エフエム山口、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社、おいでませ山口観光ボランティアガイド連絡協議会、一般社団法人萩市観光協会、一般社団法人防府観光コンベンション協会、一般財団法人山口観光コンベンション協会、湯田温泉旅館協同組合、山口県地方史学会、山口県文化財愛護協会

5 会期

令和3年8月6日(金)～9月23日(木) → 8月26日(木)以降開催

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月26日(木)より臨時休館になったため
月曜・火曜休館（8月9日・10日、は開館）

6 観覧料

一般 1,000円 学生・シニア 650円

18歳以下の方及び高等学校、中等教育学校、総合支援学校（特別支援学校）等に在学する生徒は無料。シニアは70歳以上。

7 展示構成

プロローグ 江戸時代・旅と街道のきほん

第1章 さまざまな旅の姿

- 1 萩藩の参勤交代
- 2 萩藩主の御国廻り

- 3 殿様たちの湯治旅行
- 4 庶民の旅ーお伊勢参り・名所見物ー
- 5 吉田松陰最後の旅ー江戸送りー

第2章 絵図と古文書で見る防長の街道

- 1 絵図に描かれた街道ー萩往還・山陽道・赤間関街道・山代街道・石州街道・岩国往来・肥中街道ー
- 2 街道の要衝
- 3 街道の残影ーストリートアルバムー

第3章 絵図を作った人々ー萩藩絵図方と郡方地理図師有馬喜惣太ー エピローグ さあ、歴史の道へ飛び出そう！ー歴史の道の整備と活用ー

8 出品点数

約100点（予定）（国指定重要文化財1点、県・市指定文化財4点を含む）

9 出品機関等

山口県文書館、毛利博物館、萩博物館、本郷歴史民俗資料館、宇部市学びの森くすのき、周南市美術博物館、下関市烏山民俗資料館、下関市立美術館、下関市立歴史博物館、豊栄神社、古熊神社、防府天満宮、八幡人丸神社、花岡八幡宮、やまぐち歴食研究会

10 展示図録

「絵図で見る防長の街道」 A4横、96頁 編集：山口県立山口博物館
頒価：2,300円 販売部数：300部

11 講座・イベント

【講座】

※講座室での講演のほか、会場内でのライブ中継、ネット配信（後日、展覧会会期中）を行います。

※講座室での受講は、特別展のチケット（半券、招待券）が必要です。

■ 8月7日（土） 13:30～15:00

特別展講座①

「特別展江戸時代の旅と街道スペシャルガイド」

講師：山口県立山口博物館 学芸専門監 山田 稔

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

■ 8月8日（日） 13:30～15:00

特別展講座②（博物館教育普及講座共催）

「江戸時代の街道絵図「行程記」と「御国廻御行程記」」

講師：山口県立山口博物館学芸専門監 山田 稔

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

■ 8月21日（土） 13:30～15:00

特別展講座③

「幕末維新の動乱と街道」

講師：山口大学経済学部大学院担当教授 木部 和昭

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

■ 8月22日（日） 13:30～15:00

特別展講座④

「萩藩の参勤交代について」

講師：山口県文書館 副館長 山崎 一郎

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

■ 8月28日（土） 10:30～12:00

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため中止

特別展講座⑤

「萩藩の天才地理図師 有馬喜惣太」

講師：山口県立山口博物館 学芸専門監 山田 稔

会場・定員：山口県立山口博物館講座室 12名（当日受付、先着順）

【オンライン・ギャラリートーク】

ネット配信により、展覧会の見どころを担当学芸員が分かりやすく紹介します。

（全5話。8月13日より毎週金曜日更新）

【街歩きイベント】

※新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館のため街歩きイベントはすべて中止

■ 9月4日（土） 10:00～12:00

街歩きイベント①

絵図を片手に街を歩こう！ー山口御屋形編ー

講師：山口県文書館 専門研究員 山本 明史

会場：山口県庁周辺

■ 9月5日（日） 10:00～12:00

街歩きイベント②

絵図を片手に街を歩こう！ー学都山口と山口明倫館編ー

講師：毛利愛好会代表 石川 和朋

会場：山口市パークロード周辺

■ 9月11日（土） 10:00～12:00

街歩きイベント③

絵図を片手に街を歩こう！ー風水のまち山口と萩往還編ー

講師：やまぐち萩往還語り部の会 会長 松井 邦昭

会場：山口市堅小路周辺

■ 9月12日（日） 10:00～12:00

街歩きイベント④

絵図を片手に街を歩こう！ー肥中街道・山口編ー

講師：山口県立山口博物館 学芸専門監 山田 稔

会場：山口市吉敷地区

■ 9月18日（土） 10:00～12:00

街歩きイベント⑤

親子で楽しむ・絵図を片手に街を歩こう！ー山口明倫館編ー

講師：山口県立山口博物館 学芸専門監 山田 稔

会場：山口市パークロード周辺

12 備考

文化庁「博物館等を中核とした文化クラスター事業」関連
山口県総合芸術文化祭2021協賛
山口県観光連盟「古地図を片手に、まちを歩こう！」協賛
山口ゆめ回廊博覧会事務局「ゆめ散歩プレミアム」協賛
山口県立山口図書館資料展示「江戸時代の旅と街道」協賛
萩博物館企画展「旅と人と萩と」（秋季開催）連携
毛利元就没後450年・毛利敬親没後150年記念協賛

13 特別展終了後の対応

特別展は8/26～9/26の県有施設の休館のため、8/26以降閉催となった。そのため、特別展に興味を持ちながら、閉展のため来館を実現できなかった県内外の人も多い。そこで、特別展終了後も下記のとおり対応。

◎特別展特設サイトの充実と開設期間の延長

バーチャルでの情報発信を強化し、多くの方に見ていただくため、ホームページ上に開設している特設サイトの内容を充実し、開設期間を延長。

《充実》

- ・YouTube公式チャンネルに掲載している7街道の映像箇所を7か所追加(30か所→37か所)

- ・防長土図3D・高精細画像のメイキング動画を追加掲載(子どもたちが興味を持つように)

《期間延長》

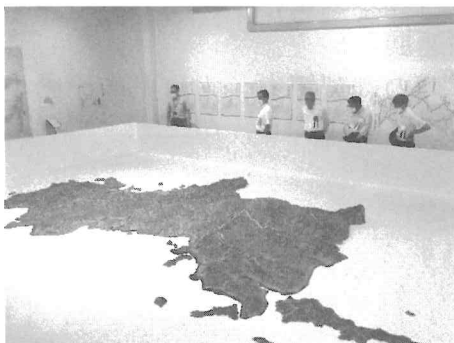
- ・当初予定の「会期末の9月23日まで」を「令和4年3月31日」まで延長

◎SNS(フェイスブック、インスタグラム)による展示情報の発信充実

これまでもSNSによる発信を行ってきたが、特別展の終了決定後は「SNS上で開催」しているイメージで、ほぼ毎日、フェイスブックを主体に、展示内容を紹介する企画を実施。

《投稿例》

- ・展示資料の写真を解説付きで掲載
- ・自宅で見ている人も展示会場の様子が疑似体験できる映像の発信
- ・特別展特設サイトの紹介と閲覧を誘導



宝山の一角 山大コレクション in 山博

—山口大学学術資産継承事業成果展—

山口大学学術資産継承事業委員会と県立山口博物館とが連携・協力して山口大学が所蔵する様々な分野の貴重な学術資料のうち修復・保存・デジタル化処理等を終えたものを広く県民に紹介します。また会場となる県立山口博物館では常設展において、本展に関連する資料等を展示した。

1. 展覧会名 宝山の一角 やまだい 山大コレクション in やまはく 山博—山口大学学術資産継承事業成果展—
2. 主 催 山口大学学術資産継承事業委員会、山口県立山口博物館
3. 会 期 令和3年4月28日（水）～6月20日（日）
開館時間 9:00～16:30（入館は16:00まで）
4. 会 場 山口県立山口博物館
5. 観 覧 料 常設展観覧料（一般 150円、学生 100円）
*70歳以上、18歳以下の方及び高等学校・中等教育学校・総合支援学校（特別支援学校）等に在学する生徒は無料。
6. 後 援 大学博物館等協議会、山口県博物館協会、山口県文書館、山口放送
山口朝日放送、テレビ山口、山口新聞社、朝日新聞、読売新聞
7. 主な展示内容 共通テーマ「やまぐち」
 - (1) 山口大学学術資産継承事業委員会展示資料（3F会場）
 - ・考古 弘津史文関連資料、官立山口高校歴史教室収集資料など
 - ・商品 山口県の陶磁器、深川焼 山口（万代）焼 星里焼 西浦焼など
 - ・鉱物・岩石 山口県を構成する主な地質系統を代表する岩石標本や、山口県産出の主な鉱石など
 - ・生物標本 山口県に生息する哺乳類の全身骨格標本など
 - ・文書 庶民史料にみる樵野川改修関連文書（林家文書、本間家文書）など
 - (2) 山口県立山口博物館展示資料（常設展の関連展示）
 - ・山口県出土の考古資料、山口県生息の哺乳類の剥製標本、山口県産出の化石など



令和3年度テーマ展「動物サポーターの7年」

1 趣 旨

山口博物館サポーター制度が始まり7年たちました。動物サポーターは、毎週に定期的に活動しています。毎月2回の山口市鴻ノ峰での昆虫を中心とする野生生物調査・昆虫標本作製、哺乳類・鳥類の解剖・標本の作製、展示標本の作製、動物標本のデータ登録・整理をしています。本展では、野生生物の調査や剥製・骨格標本の作製の様子や、12万点を超える動物標本のデータ登録や整理などの活動状況を紹介するとともに、サポーターが作製した標本類を展示解説し、サポーター活動への理解を深めました。

2 主 催 山口県立山口博物館

3 会 期 令和3年(2021年)12月10日(金)～令和4年(2022年)4月10日(日)

4 会 場 山口県立山口博物館 3階特別展示室

5 観覧料 常設展観覧料(一般150円、学生100円)

なお、18歳以下と70歳以上、高等学校・中等教育学校・総合支援学校(特別支援学校)の生徒は無料

6 展示内容

① 野生生物の調査(山口市鴻ノ峰)

- ・調査はおもしろい!採集の極意を紹介
- ・採集し標本になった昆虫は1500種

チョウ目470種、コウチュウ目440種、カメムシ目180種、ハチ目140種、ハエ目110種、バッタ目60種、トンボ目35種など約6000個体を展示

- ・植物や野鳥の生息状況を紹介

② サポーターが作製した剥製・骨格標本

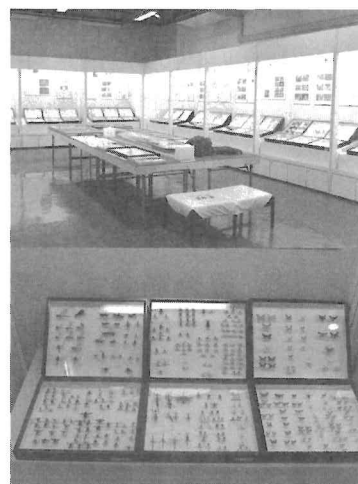
- ・標本はこうに作られる(作製過程の解説)
- ・交通事故や有害捕獲やネコによる採集で博物館に持ち込まれ標本になった哺乳類 ツキノワグマ・タヌキ・ノウサギ・ヌートリア・コウベモグラなど約20種
- ・衝突事故で博物館に持ち込まれ標本になった野鳥類 イカル・カワセミ・ヒヨドリ・トラツグミなど約30種

③ 12万点を超える動物標本データを登録

- ・標本のデータ整理・登録
- ・山口博物館の収蔵標本データを世界に発信(GBIF事業)

④ 動物サポーター7年の足跡

- ・サポーターの活動歴
- ・サポちゃん通信(活動報告)
- ・サポーターの声



サイエンスやまぐち 2021 開催報告

1 趣 旨

児童・生徒たちの常日頃の研究成果を、作品の展示や研究発表会を通して広く県民の方々に見ていただく場を提供し、その成果を顕彰することにより、青少年はもとより県民の自然や科学への関心を深め、科学活動が活発となることを目指すものです。

2 主 催 山口県、山口県教育委員会

3 共 催 一般社団法人山口県発明協会

山口県小学校教育研究会理科部

山口県中学校教育研究会理科部

山口県高等学校教育研究会理化部会

山口県高等学校教育研究会生物部会



4 内 容

児童・生徒の研究成果を顕彰する取り組みとして、科学作品展と科学研究発表会を実施する。両取り組みの総合開会式・表彰式を開催する。

(1) 第75回山口県科学作品展

・自然の部 県内の児童生徒が、自然を相手にして取り組んだ観察・実験の研究物の優秀作品 151点

・創造の部 県内の児童生徒が、今年度創意工夫した生活用具や遊び用具などの優秀作品 47点

会 期 令和3年10月29日（金）～ 11月14日（日）

※開場時間 9:00～16:30 入場は16:00まで

※11/1（月）、11/8（月）は休館日、15日間開催

※10/29（金）は、総合開会式終了後に開場（10:30頃）

会 場 山口県立山口博物館（山口市春日町8-2）

観覧料 常設展入館料に含む

一般 150円（団体 120円） 学生 100円（団体 80円）

19歳未満及び70歳以上、高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する生徒は無料。団体は20名以上

（教育・文化週間期間中の11月1日（月）～7日（日）は、すべての入館者が無料です。）

(2) 第75回山口県科学研究発表会

県内の児童・生徒の科学に関する研究発表作品を、資料・DVDの形で募集し、審査する。優秀作品は科学作品展の会場で公開する。

審 査 令和3年10月19日（火）

会 場 山口県立山口博物館（山口市春日町8-2）

(3) 総合開会式・表彰式

日 時 令和3年10月29日（金）10:00～10:30

会 場 山口県立山口博物館（山口市春日町8-2）



「すごいおもちゃコーナー」第2期展示 開催要項

1 趣 旨

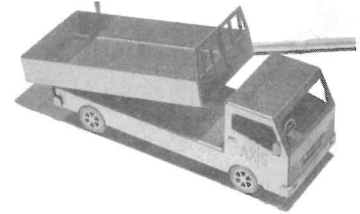
未来を担う子どもたちに、ものづくりのしくみや持続可能な社会の実現に取り組む県内企業の技術力の高さをわかりやすく体感してもらうため、県内企業の皆様の卓越したものづくり技術でつくったすごい「おもちゃ」などを紹介・展示します。



2 実施主体

山口県立山口博物館

協力：（公財）やまぐち産業振興財団



3 実施場所

博物館2階 理工展示室の一部

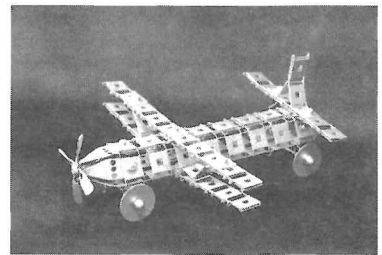
4 展示期間

令和3年9月27日（木）～ 令和4年10月16日（水）

5 展示資料

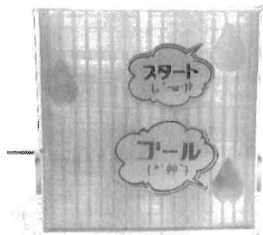
○水がもれないトラック 製作：(株)アクシス（下関市）

2枚の板を折り曲げて製作されたトラック。精密曲げ加工技術で製作されており、荷台部分は水が漏れることがない。



○TETSU-ORIGAMI（テツオリガミ） 製作：(有)新興製作所（下関市）

折り紙のように、子どもでも手で自由自在に折り曲げることのできるプレス加工で制作した金属板。人形や飛行機などさまざまなものを作ることができる。

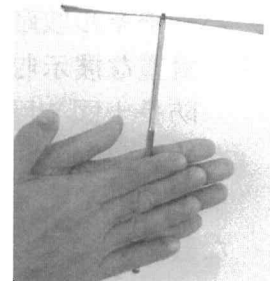


○脱出！アリの巣型3D迷路 製作：(株)伸和精工（宇部市）

10センチ角程度のキューブのなかに3Dプリンターでアリの巣のように迷路を製作。うまくゴールにたどり着けるかな？この製作技術は、実は小型通信衛星にも応用されている最先端技術。

○チタントンボ 製作：(株)ひびき精機（下関市）

複合精密切削加工で製作した航空機の翼を模した、いかにも飛び出しそうなデザイン。竹トンボより薄く、高精度。シャフトの構造、バランスにもこだわった製品。超高級チタントンボ。



6 スタートイベント

令和3年10月17日（木）10：00から25分間程度、出展いただいた企業のみなさまにお越しいただき、すごいおもちゃの紹介や体験会を行うスタートイベントを開催。

7 体験会

出展おもちゃのすごさを、製作者の解説とともに実際に触れて体感する「すごいおもちゃ体験会」を令和3年12月から令和4年7月の毎月第4日曜日に開催します。

新たな博物館展示創出事業【令和3年（2021）年度】

(1) 新たな博物館展示創出事業について（地方創生臨時交付金）

山口博物館が所蔵する文化資源をデジタル化するとともに、デジタルデータを活用した魅力的なコンテンツの提供やオンライン授業等を実施（※デジタル松下村塾）することで、鑑賞機会の拡大や学校等における学習活動への支援を図る。

※デジタル松下村塾とは、歴史展示室の一部をデジタル技術を用いて改装し、機器や解説コンテンツ等を活用して社会見学等の来館者が効果的に学習する仕組み

① 文化資源のデジタル化

山口博物館が所蔵する指定文化財や天然記念物のほか、県内で発掘された化石や県内に生息する絶滅危惧種の動植物など、本県にゆかりの深い文化資源をデジタル化（500点について実施、歴史分野が約250点、その他の6分野が約250点）

※2022年3月に「バーチャル収蔵庫」として配信

② 鑑賞機会の拡大

- ・文化資源のデジタルデータを活用したオンライン展覧会を開催
（「バーチャルミュージアムinやまはく」等をまとめて「バーチャル山口博物館」としてリニューアル）
- ・博物館の歴史展示室を文化資源のデジタルデータが活用できる環境に整備
（大型ディスプレイ、デジタルサイネージ等を設置。展示室内でタブレット等も活用）

③ 学習活動への支援

博物館の展示室とライブ中継ができる環境を整備し、デジタルデータを活用したオンライン授業を実施

※2022年3月に「デジタル松下村塾」として公開

(2) バーチャル収蔵庫

① 貴重な展示収蔵資料の鑑賞機会の拡大と学校などでの利用の利便性の向上

防長土図や巨大な真空管コンピュータなど約500点の常時展示できないような貴重な展示収蔵資料のデジタルデータをホームページ上で「バーチャル山口博物館」の一部として公開することで、コロナ禍で来館機会が減少している県民や児童生徒が貴重な資料の数々にふれる機会を増やす。またデジタル化したデータは利用者がダウンロードして活用できるしくみとしており、学校の授業などでの幅広い活用を期待している。

② 高精細や360°撮影など、博物館利用者への新たな鑑賞体験の提供と利用者層の拡大

デジタル化した収蔵資料は、すべて高精細画像であるため、興味がある部分を拡大して見ることができる。また360°撮影している資料が約100点あり、1つの資料をさまざまな視点で観覧することができるなど、展示室でも体験できない特別なこれまで

にない鑑賞体験として講座や社会見学、出前授業等でも活用し、それによりリアルな通常の展示収蔵資料と合わせて学習効果を高める。さらにデジタルであることを活かして県内にとどまらずに当館の利用者層の拡大にもつなげる。



(3) デジタル松下村塾（歴史展示室を中心としたデジタル化）

① デジタル活用による子どもから大人まで幅広い来館者への対応と新たな学びの機会の創出

県民を始め社会見学の子どもたちが、歴史展示室のデジタル機器や解説コンテンツを利用するだけでなく、さらに自ら能動的に各自のスマートフォンや貸し出ししたタブレット端末を用いて、より楽しく、より深く松下村塾について学び、歴史に関心をもつ機会を増やす場とする。

② 博物館と学校などとをライブ中継で結ぶオンライン授業の充実

オンライン中継用機器を用いて、デジタル化した歴史展示室と学校や地域をライブ中継で結び、作成した解説コンテンツやクイズを利用するとともに学芸員などのライブ解説を取り入れることで、バーチャルとリアルとの相乗効果でより効果的なオンライン形式の出前授業として活用していく。

オンライン授業については、令和4年度は、デジタル松下村塾を活用した歴史分野を含め、今年度試行した他分野（天文分野、地学分野など計4回）も含めたものとして、博物館利用の新たなメニューに位置づけ、利用促進を図る。



3 調査・研究

(1) 調査研究課題

天文学部門

岩村 和政

- 山口県内の天文資料・落下隕石・古天文機器調査
- 天文展示資料、教育普及活動についての調査研究
- 大型望遠鏡を活用した天体写真や映像配信に関する調査研究

地学部門

赤崎 英里

- 山口県の岩石資料調査
- 山口県の地質に関する調査

植物学部門

杉江 喜寿

- 山口県産植物の分布・生態調査
- 収蔵資料のデータベース化
- 植物資料の効果的な展示や博物館教育及び教育普及活動への活用についての研究

動物学部門

田中 浩

- 山口県内に生息する哺乳類の生息分布・生態調査
- 山口県内の動物の生息分布調査及び標本。文献、情報のデータ化
- 山口県における中型食肉目の社会構造・生態および競合関係の解明
- 山口県内に生息する天然記念物種の生息分布・生態調査

考古学部門

荒巻 直大

- 山口県内の遺跡に関する調査・研究
- 歴史時代の考古資料に関する研究
- 考古分野の効果的な展示や教育普及活動への活用についての研究

歴史学部門

山田 稔

- 長州藩絵図方に関する調査研究
- 近世防長の街道関係資料調査
- 歴史分野における古文書の効果的な展示方法に関する研究

理工部門

漁 剛志

- 山口県の産業に関する調査・研究
- 科学技術史に関する調査・研究
- 固体表面物性に関する最新動向調査

(2) 研究発表・著作

岩村 和政

- 2021. 5 「コロナ禍の山口県立山口博物館の天文活動について」. 天文教育研究集会「天文教育」2021年5月号
- 2021. 12 「隕石落下を目撃？」サンデー山口 (12月1日号)
- 2021. 12 「特別展「江戸時代の旅と街道」の映像ができるまで」宇部日報 (12月8日号)
- 2022. 3 「特別展で実施したオンライン予約について」山口県立山口博物館研究報告第48号

赤崎 英里

- 2021. 9 「スライスした岩石を観察してみよう」サンデー山口 (10月6日号)
- 2022. 3 「岩石薄片資料の有効な展示と活用方法 ー教育普及講座「スライスした岩石を観察しよう」と常設展示「偏光顕微鏡で見る岩石の世界」を例に一」山口県立山口博物館研究報告 第48号

杉江 喜寿

- 2021. 4 「やまぐちで学ぶ！やまぐちを学ぶ！山口県立山口博物館」理科教室796号 科学教育研究協議会編集 本の泉社 (4月1日発行)
- 2021. 4 「山口県立山口博物館 そうだ！博物館に行こう！！博物館を呼ぼう！！」理科教室796号 科学教育研究協議会編集 本の泉社 (4月1日発行)
- 2021. 4 「テーマ展「自然の美」-植物画で見る日本を彩る花-」くさかや第29号 日本植物画倶楽部会報 日本植物画倶楽部会報 (4月30日発行)
- 2021. 10 「やまはくの誕生から現在まで」宇部日報 (ほっとやまはくタイム序：10月27日掲載)
- 2021. 11 「ひつつき虫って何？」サンデー山口 (11月3日号)
- 2021. 11 「特別展「江戸時代の旅と街道」をバーチャルでもお家でも楽しもう！」宇部日報 (ほっとやまはくタイム①：11月10日掲載)
- 2021. 11 「「モミジ」と「ドングリ」で身近な秋を楽しもう！」宇部日報 (ほっとやまはくタイム②：11月24日掲載)
- 2022. 3 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による山口県立山口博物館の運営への影響と対応 2021」山口県立山口博物館研究報告第48号

田中 浩

- 2021. 11 「山口県の哺乳類と哺乳類の研究者が危惧していること」日本環境動物昆虫学会第33回年次大会 (オンライン) 市民公開シンポジウム「風力発電の諸問題：再エネ推進と環境保全の現状と課題」
- 2022. 1 Cooperative den maintenance between male Japanese badgers that are delayed dispersers and their mothers. (共著) Journal of Ethology 40:3-11. (ニホンアナグマ遅延分散オスと母アナグマによる共同の巣穴管理)
- 2022. 1 「テーマ展動物サポーターの7年」サンデー山口 (1月5日号掲載)
- 2022. 1 「テーマ展動物サポーターの7年」宇部日報 (ほっとやまはくタイム：1月12日掲載)
- 2022. 2 「山口市鴻ノ峰の昆虫類」サンデー山口 (2月2日号掲載)

2022. 2 「テーマ展動物サポーターの7年②」宇部日報（ほっとやまはくタイム：2月24日掲載）
2022. 3 秋吉台を中心とした山口県産アカネズミの遺伝的解析.（共著）秋吉台科学博物館報告 第57号:7-12.

荒巻 直大

2021. 4 「宝山の一角 林家文書」サンデー山口（4月7日号）
2021. 5 「宝山の一角 片山古墳出土品の再会」サンデー山口（5月5日号）
2021. 6 「宝山の一角 筥倉古墳出土品」サンデー山口（6月3日号）
2022. 1 「県内最大級の前方後円墳 白鳥古墳」宇部日報ほっとやまはくタイム⑥（1月12日掲載）
2022. 3 「山口県における伝大坂城築城残石の現状について」山口県立山口博物館研究報告第48号

山田 稔

2021. 8 「見よう！歩こう！歴史の道」サンデー山口（8月5日号）
2021. 9 「オンラインで『歴史の道』が歩けます！」サンデー山口（9月2日号）
2021. 7 「山口県立山口博物館特別展「江戸時代の旅と街道」と歴史の道」（『山口県文化財』第52号、山口県文化財愛護協会）
2021. 7 特別展開催記念誌『絵図で見る防長の街道』編集、山口県立山口博物館
2021. 7 「街道を描いた防長絵図3選ー「御国廻御行程記」「行程記」「一村限明細絵図」ー」（『絵図で見る防長の街道』、山口県立山口博物館）
2021. 10 萩ものがたり第71集『絵図で見る萩の街道 式 天才地理図師有馬喜惣太』（単著）
2021. 12 「見よう！歩こう！歴史の道」宇部日報ほっとやまはくタイム④（12月22日掲載）
2022. 2 「江戸時代の旅と街道あれこれ」宇部日報ほっとやまはくタイム⑦（2月9日掲載）
2022. 3 「史料紹介 手鑑「多々良の麻佐古」（2）」（共著）（山口県立山口博物館研究報告第48号）
2022. 3 「特別展「江戸時代の旅と街道」と街道の映像記録」（山口県立山口博物館研究報告第48号）

漁 剛志

2021. 7 「宇宙でも活躍する県内企業の技術」サンデー山口（7月7日号）
2021. 8 「子どもにも親しめる地域企業の技術力紹介展示について」金属 Vol. 91 No. 8
2022. 2 「バーチャル収蔵庫を開設します」サンデー山口（3月2日号）
2022. 3 「すごいおもちゃコーナー」とは？ 宇部日報ほっとやまはくタイム⑨（3月9日掲載）
2022. 3 バーチャル収蔵庫を開設しました 宇部日報ほっとやまはくタイム⑩（3月23日掲載）
2022. 3 「ミュージックミュージアムinバーチャルやまはく」と「バーチャル収蔵庫」の開設と概要について」山口県立山口博物館研究報告第48号

4 教育普及

(1) 教育普及講座

講座等（令和3年度）

部門	講座名・内容	実施日	場所	対象	受講者
天文	皆既月食を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	5/26	当館	一般県民	中止 (※1)
	夏の星空を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	7/31	当館	一般県民	中止 (※2)
	木星と土星を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	10/2～ 3	当館	一般県民	47
	部分月食を見る会 講師：岩村和政（山口博物館）	11/19	当館	一般県民	36
	はじめての望遠鏡 講師：岩村和政（山口博物館）	3/12	当館	一般県民	17
地学	地学教室①「地質観察」 講師：赤崎 英里	5/16	山口市	小学生以上	6
	地学教室②「スライスした岩石を観察しよう」 講師：赤崎 英里	10/17	当館	小学生以上	20
	地学教室③「鉱物テラリウムをつくろう」 講師：赤崎 英里	3/6	当館	中学生以上	12
植物	植物教室①植物（押し葉・さく葉）標本を作ろう！ 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	6/26	当館	一般県民	20
	植物教室③「秋の植物のふしぎを調べて飾りを作ろう！」 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	11/27	当館	一般県民	16
	植物教室②葉脈標本のしおりやミニ図鑑をつくろう！ 講師：杉江 喜寿（山口博物館）	2/26	当館	一般県民	16
動物	初夏の昆虫観察 講師：田中 浩（山口博物館）	5/30	鴻ノ峰	小学生以上	中止 (※1)
	夏の昆虫採集と標本作り 講師：田中 浩（山口博物館）	7/24～ 25	当館・周辺	小学生以上	40
	秋の昆虫観察 講師：田中 浩（山口博物館）	9/26	鴻ノ峰	小学生以上	中止 (※1)
	里山の動物観察会 講師：田中 浩（山口博物館）	3/20	鴻ノ峰・ 周辺山里	小学生以上	13
考古	埴輪を作ろう！ 講師：荒巻 直大（山口博物館）	5/8	当館	一般県民	17
	勾玉を作ろう！ 講師：荒巻 直大（山口博物館）	8/9	当館	一般県民	17
	古代ウォーク 講師：横山 成己（山口大学埋蔵文化財資料館・助教） 水久保 祥子（同・技術職員）	11/3	平生町	一般県民	14
	古代の機織りでコースターをつくろう！ 講師：荒巻 直大（山口博物館）	12/4	当館	一般県民	18

歴史	「江戸時代の街道絵図「行程記」と「御国廻御行程記」 講師：山田 稔（山口博物館）」	8/8	当館	一般県民	12
	実技講座「掛け軸の取り扱い方」 講師：山田 稔（山口博物館）」	10/30	当館	一般県民	9
	親子で楽しむ・絵図を片手に街を歩こう！ー山口明倫館編ー 講師：山田 稔（山口博物館）」	2/27	当館・ パークロード周辺	一般県民	10
理工	科学工作講座 講師：漁 剛志（山口博物館）」	8/4～5	当館	一般県民	34
	ロボットプログラミング教室（初級） 講師：漁 剛志（山口博物館）」	10/10	当館	一般県民	28
	雪の結晶をつくろう！ 講師：漁 剛志（山口博物館）」	12/12	当館	一般県民	17
	ロボットプログラミング教室（中級） 講師：漁 剛志（山口博物館）」	2/20	当館	一般県民	26
参加者数 合計					444

※1 新型コロナ感染拡大防止のために中止 ※2 天候不順により中止

(2) 学芸員派遣・社会貢献

岩村 和政

- ・日本のクリスマスは山口から実行委員（山口商工会議所）
- ・こども読書週間イベント「簡単な望遠鏡をつくろう！」講師（山口県立山口図書館）

赤崎 英里

- ・山口大学・美祢市パートナーシップ事業運営協議会監事
- ・第11回「科学の甲子園」山口県大会における委員
- ・山口県埋蔵文化財センター令和3年度発掘調査遺跡石材鑑定（山口県埋蔵文化財センター）
- ・山口地学会事務局

杉江 喜寿

- ・山口県希少動植物調査検討専門部会員（山口県自然保護課）
- ・タンポポ調査・西日本山口県事務局
- ・日本博物館協会中国支部研修会研究発表者「コロナ禍だからできない？コロナ禍だけできた？～この1年8か月の取組とその先にあるもの～」(11月25日：オンライン)

田中 浩

- ・日本哺乳類学会 『哺乳類科学』編集委員 責任編集2編
- ・西中国山地ツキノワグマ保護管理対策協議会委員（山口県・広島県・島根県）
- ・山口県鳥獣被害防止対策協議会（山口県農林水産政策課）
- ・山口県野生生物保全対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県イノシシ対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県シカ対策検討委員会委員（山口県自然保護課）
- ・山口県サル対策検討委員会委員（山口県自然保護課）

- ・防府市文化財審議会委員（防府市）
- ・下関市立豊田ホテルの里ミュージアム運営協議会委員（下関市）
- ・木屋川ダム再開発事業環境影響評価技術検討委員（山口県河川課）
- ・アライグマ・ヌートリア捕獲従事者講習会講師（山口県自然保護課）
- ・山口生物学会事務局
- ・至誠館大学非常勤講師（生物学）

荒巻 直大

- ・山口県地方史学会幹事
- ・「こどもワイワイ図書館」講師（山口市立中央図書館）
- ・山口大学人文学部非常勤講師・博物館実習（実務実習）

山田 稔

- ・山口県立大学非常勤講師（博物館学内実習Ⅱ）
- ・山口県史編さん調査委員
- ・山口県史編さん執筆委員
- ・下関市立歴史博物館協議会委員
- ・下関市文化財保護審議会委員
- ・岩国市博物館基本計画検討委員会委員
- ・毛利博物館資料評価委員
- ・山口県地方史学会幹事
- ・「『特別展江戸時代の旅と街道』から知る郷土資料とその魅せ方」
- ・「萩藩の天才地理図師有馬喜惣太」（2021.10.23、萩博物館特別展講座講師）
（2021.11.17、令和3年度公立図書館職員専門講習会第1回講師）
- ・「江戸時代の旅と街道」（2021.11.30、山口県央ロータリークラブ卓話講師）

漁 剛志

- ・サイエンスやまぐち2021創造の部審査員
- ・2021やまぐち発明くふう展審査員
- ・2021やまぐち未来の科学夢絵画展審査員
- ・2021年度プログラミング教育推進委員会推進委員（山口県教育委員会義務教育課）
- ・岩国市科学センター整備検討委員会委員

(3) レファレンス

教育普及活動の一環として、各部門の学芸員によるレファレンスサービスを行っている。
電話・郵便・来館いずれでも随時受け付けている。

個人では小学生から成人まで、団体では学校、各種機関、企業、報道機関等多方面から相談が寄せられている。

各分野の学術的な質問、館蔵資料についての問い合わせ、資料の同定依頼等が多い。
なお、考古・歴史資料の鑑定依頼は受け付けていない。

※ 分野別の件数等については、Ⅲ 令和3年度利用状況及び年次推移 (3) 教育普及講座実施状況に記載

(4) 学校や地域団体への教育支援

博物館と学校・地域との連携を進めるために、平成16年度から以下の事業を実施している(地域との連携事業については平成19年度から)。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出前授業の実施会場など三密を避ける工夫を徹底し、「昆虫教室」「大地のつくり」「ミニ博物館」のプログラムは密になるため原則的には実施していない。また、社会見学等の来館対応では、同時刻に2団体以上の受け入れをしない、団体間の時間を1時間以上空ける、入館前の検温、体調チェックを徹底する、等の対策を実施した。

① 出前授業

学芸員や長期研修教員(ミュージアムティーチャー)が学校等に行き、収蔵資料や機器等を可能な範囲で活用しながら、より質の高い授業になるように、学校等の教育活動を支援した。

教科の学習や総合的な学習、資料展示(ミニ博物館)など、学習内容などを協議して実施し、令和3年度にはロボットプログラミング教室、昆虫教室、化石レプリカづくり、天体観測、勾玉づくりなどのプログラムを、小・中学校、地域団体など197団体のべ4,077人に実施した。

② 社会見学などに関する対応

社会見学などの団体見学に対し、担当者による館内案内や展示の解説、ワークシートなどを利用した学習を行っている。令和3年度には、小学校、中学校、特別支援学校、地域団体など75団体、3,800名の利用があった。

③ 職場体験学習への対応

施設見学や学芸員の解説、社会見学ガイド実習等、各種体験活動をととして、学芸員の仕事や博物館の機能について学習している。令和3年度は利用がなかった。

④ 館内授業

学習内容に沿って、展示資料や収蔵資料などを活用し、学芸員の解説なども含めて館内授業を行っている。令和3年度は、化石レプリカづくり、葉脈標本づくり、勾玉づくりなどのプログラムを小学校、中学校など9団体、219名に実施した。

⑤ 教材貸出

小・中学校用の学習教材の開発を手がけている。研修教員が出前授業等で使用する教材、学校が各教科や総合的な学習等で使用する教育用資料を準備した。令和3年度は、38団体への貸出を行った。

⑥ 学習コーナー

学習コーナーとして、既存の図書約900冊を用意し、各分野の学習ができる環境を整備している。コーナーの一部には山口県の自然や歴史・科学・宇宙などに広く関心をもたせるために「なっとくんニュース」や出前授業制作品を展示した。

⑦ 長期研修教員(ミュージアムティーチャー)

令和3年度は、小学校教諭(1名)、中学校教諭(1名)、中学校教頭(1名)の3名が1年間研修を行った。研修内容は、博物館学校地域連携教育支援事業の実施を通じての博

物館の機能に関する一般的な研修、専門的な研修、県内外の博物館視察、報告書の作成などである。

⑧ 博物館一日体験研修

小・中・高等学校の教員計35名が一日の研修を行った。研修内容は、博物館機能の解説講義、博物館学校地域連携教育支援事業の実践報告、特別展・館内見学、実習である。

⑨ 博物館学校地域連携推進会議

平成22年度から、前ミュージアムティーチャーと当館学芸員とがこれまでの活動を振り返りながら、博物館の人的物的な教育資源を今まで以上に有効に活用して、学校や地域のニーズに対応した質の高いプログラムを提供することを目的とする「博物館学校地域連携推進会議」を開催している。令和3年度も、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。

⑩ 広報活動

博物館学校地域連携教育支援事業の活用を推進するために以下の活動を行ってきた。

- ・各地域の校長会や小・中学校の理科部会などに出向いて本事業の紹介
- ・「博物館ガイド」、「事業報告書」配付、月1回の「博物館だより」配信、ホームページ掲載
- ・広報誌「なるほどなっとくニュース」を発行、ホームページ掲載

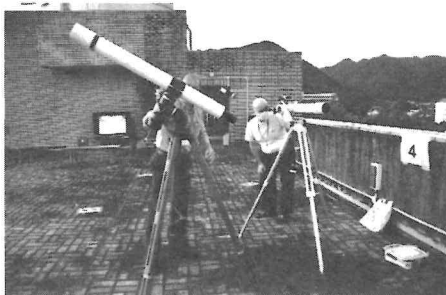
(5) サポーター制度

サポーター制度は、山口博物館の理念や活動に共感し、ともに山口博物館を作っていくという意志を有する方に登録いただき、博物館の取組等に対する様々なサポート活動を行っている。

令和4年3月末の登録者数は69名である。令和3年度の活動はのべ200日以上、のべ800名以上のサポーターが活動をした。今年度の各分野別の活動状況を報告する。

① 天文部門サポーター活動

天体観望会など教育普及の天文行事の実施サポートを行った。観望会の準備、望遠鏡の操作、観望会一般参加者の受付・案内・誘導、観望会での解説、観望会の片付けなどで、その他資料整理のサポート活動、望遠鏡などの取り扱い・天文現象などについての研修（天文ワークショップ）を行った。天体観望会や天文ワークショップなど年間9回実施し、のべ45人の天文サポーターが活動した。



観望会の準備の様子（望遠鏡の設置）



「はじめての望遠鏡」講座で望遠鏡の解説

② 理工部門サポーター活動

収蔵資料の整理やデジタル化、工作講座や特別展などで使用する教材の開発及び教育普及行事のサポートを行うグループに分かれ、それぞれ、毎週木曜と金曜日及び教育普及行事当日に活動を行った。のべ71人の理工サポーターが活動した。



科学工作講座での指導



次年度の教材を開発している様子

③ 植物部門サポーター活動

植物標本作成（台紙への貼り付け作業など）、植物標本のデータ整理（パソコンへのデータ入力など）、植物標本の配架作業（標本棚への配架や標本の検索・確認など）を行う活動日を水曜日と定め活動を行った。

また、教育普及講座のサポート活動や西日本タンポポ調査2020（コロナ禍により2021年も実施）への協力など、のべ47回、163人の植物サポーターが活動した。



講座「標本での飾りづくり」の指導



植物標本の資料整理



植物標本の作成

④ 動物部門サポーター活動

哺乳類・鳥類などの仮剥製・骨格標本作製を行う「ホネっこ」グループの活動が1年半ぶりに再開できた。毎週木曜を標本整理日と定め貝類・昆虫類・魚類の整理と登録、骨格標本作製作業を行った。GBIF事業については、これまで25,000件の山口博物館の昆虫類標本が公開されているが、本年度新たに10,500件申請した。また、教育普及行事のサポート活動を行い、講師として、参加者の指導と安全管理を行った。地域のインベスツリー調査として2015年4月から月2回土曜に鴻ノ峰生物採集・観察・標本作製を行った。2022年3月までの7ヶ年で、昆虫類1,500種以上確認し、採集した個体は9,000を超えた。動物サポーターの活動報告として「サポちゃん通信8号」を8月に、「サポちゃん通信9号」を2月に発行した。また、これまでの7年間の活動をまとめ、テーマ展「動物サポーターの7年」を企画し、展示物作製と展示作業を行った（上段写真）。会期は2021年12月10日から2022年4月10日で、博物館3階で実施した（下段写真）。



⑤ 地学部門サポーター活動

1名が活動し、不定期で資料整理を行った。また、教育普及講座地学教室①地質観察でサポート活動した。

5 その他

(1) 刊行物

山口県立山口博物館研究報告 第48号

当館職員の研究報告で、年1回発行。配布先は全国の博物館、大学、その他の研究機関。
発行部数 650部、B5判、78頁、2022年3月発行

山口県の自然 第82号

山口県の自然に関する報告誌で、投稿は県民に開放している。発行先は、全国の自然系博物館、大学、研究機関、県内の図書館、中学・高校の図書館等
発行部数 650部、B5判、18頁、2022年3月発行

「サイエンスやまぐち2021」出品者目録

「サイエンスやまぐち2021」の開催にあたって出品者・作品のリストを作成し、観覧者に無料配布。
発行部数 1,000部、A4判、4頁、2021年10月発行

山口県立山口博物館館報 第43号

令和2年度の博物館事業の報告書。配布先は県内の小・中・高・大学、博物館、図書館で、県外は当館と関連のある研究・教育機関。
発行部数 800部、A4判、78頁、2022年3月発行

博物館学校地域連携教育支援事業報告書(令和3年度版)

令和3年度の博物館学校地域連携教育支援事業の報告書は、利用案内・長期研修報告として県内の小・中学校等に配布。500部、A4判、47頁、2022年3月発行

(2) 博物館実習・インターンシップ・社会体験研修

学校名	人数(人)	期 間	内 容
博物館実習 久留米大学	1	8/2～8/6	総務一般、学芸一般、展示実習等
インターンシップ 山口大学	1	8/2～8/6	博物館業務体験
中堅教諭等資質向上研修 山口県立防府総合支援学校	1	8/3～5	博物館業務体験
山陽小野田市立厚狭中学校	1		

(3) 山口県博物館協会（事務局：山口県立山口博物館）

山口県博物館協会は、昭和38年に発足している。現在、山口県内の多くの博物館等が加盟しており、令和3年度末の加盟館数は59館園となっている。

協会の事業は、年1回の総会をはじめ、研修会、各種刊行物の発行など多岐にわたっており、加盟館相互の連携を図りつつ、博物館事業の普及発展を目的として活動を行っている。

山口博物館は、協会発足以来、会長館・事務局を務めている。平成25年度には創立50周年記念式典を挙行了した。

(4) 日本博物館協会中国支部

（事務局：R 2～3 岡山県立博物館）

日本博物館協会中国支部は昭和49年に発足し、中国5県に所在する博物館協会の会員に構成しており、令和3年度末の加盟館数は77館園となっている。

支部の事業としては、年1回の総会をはじめ、研修会、会報の発行などがあり、中国地区内の館園相互の連携を図り、教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的として活動を行っている。

令和3年度は、役員会・総会については、書面による決裁にて、研修会についてはオンライン開催にて行った。

山口博物館は、令和2・3年度は理事を務めている。

V 基本方針と令和4年度の事業概要

1 基本方針

(1) 文化の継承と発展に努める

本県は古くから大陸との交流において大きな役割を果たし、特色ある文化を育んできた。当博物館は、様々な活動を通じて山口県の自然と歴史を調査研究し、本県文化の継承と発展・創造に寄与する資料を収集・保管し必要に応じて提供する。

(2) 人文系と自然、理工系の総合博物館として活動する

人文系及び自然、理工系を併せもつ博物館として、その特色を生かしながら、郷土色豊かな総合博物館としての発展を目指す。

(3) 豊かな心を育み人づくりに資する施設として貢献する

心の豊かさと、創造性に富む人づくりの推進の一翼を担う社会教育施設として、活発な活動を行う。

(4) 多彩な博物館活動を行う

- ・ 資料の収集・保管に努める。
- ・ 資料の調査・研究に努める。
- ・ 展示活動の充実を図る。
- ・ 普及教育活動の充実を図る。

2 令和4年度の重点取組事項

新型コロナウイルスの感染状況も睨みつつ、当館の収蔵資料に「リアル」と「バーチャル」の両面で触れて学べる機会を拡充する。

各種講座の安全な実施をはじめ、所蔵資料の活用や他館・大学・団体等との連携を図りながら、地域との連携や地域の再発見を進める展示に力を入れる。

・ リアル＋バーチャルの融合 ・ 地域と連携する展示 ・ 県民参加の促進

(1) 特別展や企画展など年間を通じて多彩な展覧会を開催する

◇特別展「ふしぎ！おどろき！大動物展 ～おおきくなあれ 野生のどうぶつ物語～」の開催

- ・ 当館の映像や剥製展示と、生態展示の県内4施設との連携による深化

◇2つの企画展の開催

- ・ 「図鑑から飛び出した!? カラフル鉱物大集合!!」
- ・ 「レンズでのぞいた宇宙の不思議 やまはくのと天体望遠鏡」

◇バーチャル博物館やオンライン授業の充実

- ・ 文化資源のデジタル化（バーチャル収蔵庫）を含むデジタル山口博物館の充実
- ・ デジタル松下村塾等の展示収蔵資料を活用したオンライン授業

(2) 教育普及活動や博学連携事業を安全かつ効果的に実施する

◇タイムリーかつ幅広い年齢層を対象とした講座の企画・実施

- ・ 感染防止対策の徹底や事前予約等による3密防止

◇MT（ミュージアムティーチャー）と学芸員の連携による出前授業等の実施

◇デジタルデータの活用による各種講座の内容充実、オンライン授業の実施・支援

◇サポーター活動に対する支援

(3) リアル・バーチャル両面の展示環境を整える

◇HP上のバーチャル展示を「バーチャル山口博物館」として統合・整理し充実

◇老朽化した施設・設備の適切な維持管理

(4) 情報発信を強化する

- ◇ SNS (フェイスブック、インスタグラム) による発信
- ◇ 展示資料や山口県に関するメモリアルデイ等を活用した情報発信
- ◇ 常設展・企画展における情報発信の強化

3 達成指標

(1) 総利用者数（入館・教育普及・レファレンス・出前授業）

→ 過去3年間（令和元年度～3年度）の平均値超

(2) リアル博物館満足度

- ◇ 特別展来館者満足度（とても良かった・良かった）

→ 過去3年間（令和元年度～3年度）の平均値超

- ◇ 新教育普及講座参加者満足度

→ 5段階評価平均値 4.5超

- ◇ 新博学地域連携事業事後アンケート満足度（とても良かった・良かった）

→ 90%超

(3) バーチャル博物館活用度

- ◇ ホームページ閲覧件数

→ 前年度超

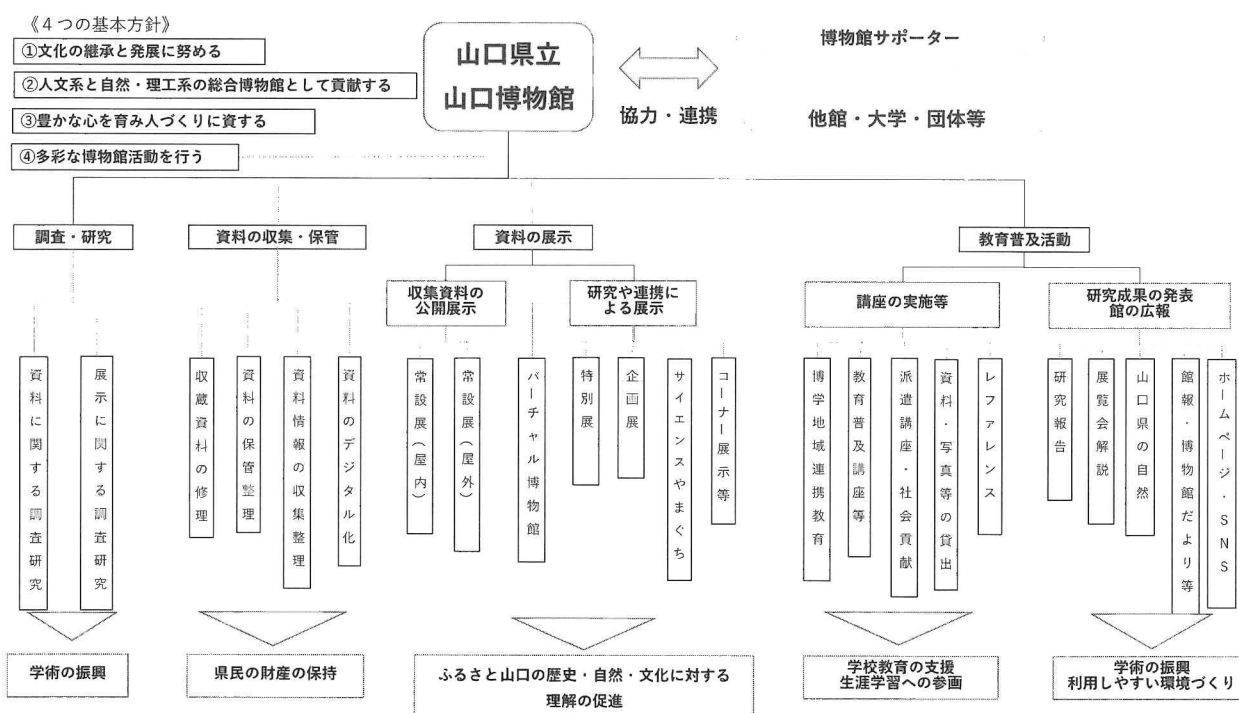
(4) 情報発信度

- ◇ 記者発表件数 → 前年度超

- ◇ SNS（Face Bookやインスタグラム）閲覧件数 → 前年度超

4 機能

★山口博物館の基本方針と活動体系★



5 博物館活動の展開

基本方針を基調として、下記の各事業活動を実施する。

ア 調査・研究

調査・研究は、博物館活動の基礎となる事業である。その成果は、学術論文や当館の刊行物として公表されるばかりではなく、展示・講座・観察会などに生かされる。山口県の自然・科学・歴史を明らかにする目的で、多様な視点から研究を行う。

総合研究

山口県の自然や科学の現状と歴史を把握し、その起源と成立過程を明らかにすることを目的として、広い領域を対象とした共同研究を行う。

総合研究① 新しい時代の博物館活動に関する総合的研究

総合研究② 山口県の自然と文化に関する総合的研究

重点研究

山口県の自然・科学・歴史及び博物館活動に関する今日的な課題を総合研究の課題に準じて設定し、短期集中的に調査し研究を行うプロジェクト研究を行う。今年度は総合研究①の課題に準じて重点研究①、総合研究②の課題に準じて重点研究②の研究を行う。

重点研究① 山口博物館の歴史と新しい博物館像に関する調査研究

重点研究② 樺野川流域における歴史・自然・科学の総合学術研究

専門研究

学芸員・研究員が専門的なテーマについて、より深く探究することを目的に研究する。

担当	研究分類	課 題	内 容
岩村 (天文)	重点 ①	新しい時代の学校教育やボランティア活動について	「障害者差別解消法」に則した天体観望会における合理的配慮の工夫とボランティアとの連携を探る。
	専門	天体写真の撮影方法や映像のライブ配信についての研究	大型望遠鏡とカメラの接続や撮影方法について研究し、天体写真資料をデータベース化する。また観望会などで、ライブ配信などを活用して情報発信を進める。
赤崎 (地学)	重点 ①	興味を引き、理解を深める展示方法について	多数の鉱物資料を観点別にグループ化して展示する。興味を引くだけでなく、理解を深める展示方法について探る。
	専門	岩石資料・化石資料の収集と整理・活用について	新たに収集した資料を含めて資料整理を進め、展示や教育普及講座での活用方法を探る。
	重点 ①	植物分野関係資料の効果的な展示についての調査研究	スペースの限られた展示室の中で、展示物の配置や展示装置、ICT機器などの工夫によって、わかりやすく興味深い情報をより効果的に展示する。

杉江（植物）	専門	山口県のレッドリスト改訂にともなう山口県産植物の分布調査や収集資料の見直し、及び効率的なデータベース化の研究	山口県のレッドリストの改訂にともなう山口県産植物の分布調査や収集資料の見直し、標本整理、資料のデータベース化を進め、山口県産植物の分布の実態を明らかにするとともに資料の活用を進める。
	重点①	山口県産植物に関する調査結果の県民への情報発信及び効果的な活用に関する研究	身近で貴重な山口県の植物の調査結果を発信し、また教育普及活動などで活用していくことで、植物への興味だけでなく山口県の自然への興味関心を高める。
田中（動物）	重点②	樺野川流域における脊椎動物（哺乳類・鳥類・両生類・爬虫類・魚類）の生息分布調査と分布特性の解析	樺野川本流および支流ならびに流域に生息する脊椎動物全種について、生息分布状況を把握し、動物群ごとに分布特性の解析を行い、樺野川流域における脊椎動物相を明らかにする。
	専門	山口県の小型哺乳類生息分布・生態調査研究	山口県において小型哺乳類である齧歯目および食虫目の調査はほとんど行われていない。生息分布状況を把握し、山口県における生息実態を明らかにする。
	専門	天然記念物の生息実態調査	山口県に生息するヤマネについて、生息分布状況を把握し、生息実態・社会構造を明らかにする。
	専門	山口県の両生・爬虫類の生息分布・生態調査研究	山口県において両生・爬虫類の生息分布状況を把握し、山口県における生息実態を明らかにする。
	専門	山口県における中型肉食肉目の社会構造・生態および競合関係の解明	中型食肉目であるタヌキ・アナグマ・キツネ・テンは同所的に生息し、競合関係にあると考えられる。繁殖時における巣穴利用、食性比較、生息地利用などの実態を解明し、競合関係の実態を明らかにする。
	専門	山口県の無脊椎動物の標本データ解析による生息環境の変遷と希少動物種保全に向けた調査研究	山口県の無脊椎動物の標本データをまとめ、生息実態より生息環境の変遷と希少動物種保全に向けた解析を行う。
	専門	山口県の動物に関する標本・文献・情報データの収集方法の確立とデータベース化	山口県の動物に関する標本・文献・情報データの収集方法を確立し、データベース化を図る。
阿部（考古）	重点①	山口県内の遺跡に関する調査研究	県内遺跡の情報収集や調査を行い、その価値を明らかにし、成果を次年度以降に活用する。
	専門	考古資料と文献資料の関連についての研究	当館には文献資料が主流となる歴史時代の考古資料も多く存在する。性格の異なる二つの資料を相互に関連付けて、その時代像がよりよく浮かび上がるような展示のあり方を模索し、研究する。
	専門	考古・歴史関係資料の効果的な発信について	先進的な博物館の視察等を通じて、直接手で触れたり聴覚に訴えたりする、考古・歴史関係資料の発信方法について研究する。

山田 (歴史)	重点 ①	歴史分野における古文書の効果的展示方法に関する研究	古文書の展示について、AV機器等を駆使した展示装置や解説など効果的な展示方法について研究する。
	専門	萩藩絵図方に関する調査研究	萩藩絵図方の活動や作品に関する調査研究を行う（継続）。同時に郡方地理図師有馬基惣太の事績について調査研究を進め、講座や展示に反映させる。
	専門	絵図を利用した教育普及事業に関する研究	江戸時代の絵図を利用した街道と史跡を歩いて巡見する講座の実践と効果的開催方法を研究する。
漁 (理工)	専門	科学技術史における県内産業の位置づけとその動向	県内産業と科学技術史との関連について調査する。
	専門	理工收藏資料体系の構築	全国的にも数少ない理工系博物館として、技術史全般を検討し、それに沿って收藏資料を整理する。
	専門	デバイス材料の表面物性研究	表面物性科学の最先端研究や動向等を調査する。

イ 資料の収集・保管

(ア) 収集

当館の資料基準にもとづいて、資料の収集を行う。

資料の収集は原資料を原則とするが、展示の必要に応じて複製・模型・模写・写真・フィルム等も収集する。

本県の歴史や自然に関し、学術的・文化的・教育的な価値の高い参考資料も本館設の目的に照らし、その確保に努める。

(イ) 保存・管理

収集資料は、分類・整理のうえ、收藏庫において保存・管理し、資料の保管と出納の円滑化を図る。また、定期的に資料の燻蒸消毒や全館燻蒸を実施して虫害・菌害を防止し、空調設備による温・湿度の調整を行って資料を保管に万全を期す。

ウ 資料展示

(ア) 常設展

天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工の7部門について、次の常設展示を行う。

- ・天文・・・宇宙の構成や隕石、天文学史などの天文資料
- ・地学・・・県内を中心とした岩石・化石・鉱物などの地学関係資料
- ・植物・・・県内を中心とした植物標本など植物生態関係資料
- ・動物・・・県内を中心とした脊椎動物・昆虫・貝類標本などの動物資料
- ・考古・・・県内外の遺跡出土品を中心とした考古関係資料
- ・歴史・・・古代から近・現代にいたる山口県の歴史を明らかにする資料
- ・理工・・・2階はロボットコーナー・科学技術史資料・県内産業資料など
3階は山口線運転シミュレータ等の体験ができる展示物を中心とした理工関係資料

(イ) 特別展・企画展

県民の知的ニーズに応えるため、学芸員の調査研究に基づいた企画性の高い、内容のより充実した特別展及び企画展を開催する。

(ウ) サイエンスやまぐち2022

青少年の科学に関する関心を深め、科学する心を育み、その研究心を振興するために「サイエンスやまぐち」を開催する。

エ 教育普及活動

生涯学習の必要性が高まり、その充実が図られている現在、博物館（学芸員と3名の長期研修教員（ミュージアムティーチャー））も児童・生徒のみならず広く一般県民を対象として次の諸活動を行う。

- (ア) 解説案内 要望に応じて、可能な限り学芸員やミュージアムティーチャーが展示室の解説案内を行う。また、資料等に関する質問には積極的に対応する。
- (イ) 博物館教室 講習・採集・見学会など各種の学習会を企画開催するほか、各市町・公民館・団体等の要請にもとづき現地学習会を開催する。
- (ウ) 広報出版 館報・研究報告・山口県の自然などの出版活動をとおして、博物館活動を多方面にPRする。
- (エ) 県内類似機関との連携 県博物館協会ほか類似機関との連携を取り、交流を深めながら職員相互の資質向上を図る。
- (オ) 派遣講座 生涯学習充実の一翼を担うため、各市町・公民館・団体等の要請に応じて学芸員を派遣し、部門ごとに専門的な講座を実施する。
- (カ) 博学地域連携 学校等への出前授業や資料貸出、教員研修などに積極的に関わり、学校・地域との連携を推進する。

6 サポーター制度

サポーター制度により次の諸活動を行う。

- (ア) 展示解説 来館者に対する展示資料の解説や案内・支援を行う。
- (イ) 教育普及 講座の準備、指導補助や安全確保を行う。
- (ウ) 調査研究 標本作製、データ入力、野外での採集などを行う。
- (エ) 資料整理 標本や資料の整理、ラベル作成、データ入力等を行う。
- (オ) サポーター講座 サポーター活動を理解するための講座を開催する。受講によりサポーター活動ができる。

7 施設・設備等の整備促進

博物館活動を充実するため、施設・設備等について計画的に整備を進める。

8 令和4年度事業概要

事業名	目的	内容
博物館運営費	博物館の運営、財産管理、学芸員の調査研究、次年度に開催する特別展の準備を行う。	1 博物館運営協議会の開催、博物館モニターの設置 2 博物館の管理運営、博物館施設整備 3 博物館の機械設備保守点検等委託 4 学芸員の資料調査、研究活動 5 特別展の出品資料調査

博物館整備事業費	博物館活動を充実するため、資料の整備、資料の購入、展示室の維持整備を図る。	1 資料展示保守点検等 2 展示資料 他
博物館学校地域連携教育支援事業	児童生徒や学校現場等に必要とされる資料と人材を提供することにより、学校のエデュケーション活動や地域団体の学習活動を支援する。また、一般県民や青少年を対象に各種講座を開始し、県民への学習活動を支援する。	1 学校や地域団体への教育支援 ・来館利用（社会見学、館内授業、職場体験）の受入と出前授業の実施 ・教材開発、学習プログラムの開発、貸出教材の充実等 ・ホームページ、メールマガジン、博物館だより等を活用した広報活動 ・教員研修の充実 2 教育普及活動 ・学習ニーズの多様化、高度化に対応した講座（歴史教室、地質めぐり等）の開催 ・青少年の体験学習や学校教育と連携した講座（動物観察会、植物教室等）の開催

9 令和4年度事業計画〈部門別〉

（令和4年（2022年）6月時点のもの）

部 門 等		行 事 名 ・ 講 座 名	実 施 日
特別展		「ふしぎ！おどろき！大動物展」	7月15日(金)～8月28日(日)
サイエンス やまぐち		サイエンスやまぐち2022第76回山口県科学研究発表会審査会	10月13日(木)
		サイエンスやまぐち2022第76回山口県科学作品展・開会式	10月28日(金)～11月13日(日)
企画展		「図鑑から飛び出した!?カラフル鉱物大集合!!」	4月27日(水)～6月19日(日)
企画展		「やまはくの天体望遠鏡」	12月9日(金)～4月9日(日)
教 育 普 及 講 座 等	【天文】	はじめての望遠鏡	6月5日(日)
		皆既月食を見る会	11月8日(火)
		惑星を見る会	12月17日(土)
		望遠鏡を見比べよう！	12月18日(日)
		青空に金星と木星の接近を見る会	3月2日(木)
	【地学】	地学教室①「地質観察」	6月19日(日)
		地学教室②「スライスした岩石を観察しよう」	10月16日(日)
		地学教室③「鉱物テラリウムをつくろう」	3月8日(水)
	【植物】	植物教室①「植物（押し葉・さく葉）標本を作って調べよう！入門編」	6月25日(土)
		植物教室②「葉脈標本のしおりやミニ図鑑を作ろう！」	8月27日(土)
		植物教室③「落ち葉や押し花でランタンをつくろう！」	11月26日(土)

教育普及講座等	【動物】	初夏の昆虫観察	5月29日(日)
		夏の昆虫観察と標本作り	7月23日(土)
		秋の昆虫観察会	9月25日(日)
		里山の動物観察会	3月19日(日)
	【考古】	勾玉をつくろう！	8月5日(土)
		埴輪をつくろう！	10月8日(土)
		古代ウォーク	11月5日(土)
		古代の機織りでコースターをつくろう！	11月23日(水・祝)
	【歴史】	古地図を片手に街を歩こう-肥中街道・山口編1-	5月21日(土)
		古地図を片手に街を歩こう！-萩往還・山口町編-	10月2日(日)
		古地図を片手に街を歩こう-肥中街道・山口編2-	12月3日(土)
	【理工】	ロボットプログラミング教室（初級）	6月12日(日)
		科学工作講座	8月 3日(水)・4日(木)
		雪の結晶をつくろう！	12月11日(日)
		ロボットプログラミング教室（中級）	2月5日(日)
博学地域連携	博物館学校地域連携推進会議		6月
	自由研究の進め方教室		7月9日(土)・10日(日)
	教員のための博物館の日（博物館1日体験教室）		8月17日(水)・18日(木)・19日(金)
大学連携	博物館実習		8月1日(月)～5日(金)
	インターンシップ		8月1日(月)～5日(金)
博物館協議会	第1回山口博物館協議会		9月～10月
	第2回山口博物館協議会		2月～3月
博物館協会	山口県博物館協会理事会・総会		5月13日(金)
	日本博物館協会中国支部役員会・総会（岡山県）		5月24日(月)・25日(火)
	日本博物館協会中国支部研修会（広島県）		11月
	山口県博物館協会研修会		10月27日(木)
	山口県博物館協会理事会		2月～3月
施設管理	全館消毒		6月13日(月)
			10月10日(月)

※令和4年度の事業計画（次ページ以降も含む）は、令和4年6月現在のものを掲載している。

令和4年度 山口県立山口博物館特別展
「ふしぎ！おどろき！大動物展 ～おおきくなあれ 野生のどうぶつ物語～」
開催要項

1 概 要

地球上のすべての生物は、つながりあい、多様な世界を維持しています。長い年月の中で動物たちは生息地の環境に適応し、子孫を残し、延々と生命をつないでおり、その生き様は動物種により異なります。

本展は、動物たちが自然淘汰の中で獲得した行動や形態・機能の多様性について、剥製や3D映像をはじめとする最新の機器でとらえた世界初公開を含む新たな映像等を用いることにより、楽しみながら理解を深め学習できるものとなっています。展示は、動物たちの子育てに注目し、しあわせ動物写真家 福田幸広氏が世界・日本・山口で撮影した写真や映像等を使い、どのようにして親が子の世話をし、子が成長していくのかを軸に展開します。また、3Dの180度VR映像により野生動物のおどろきの世界に迫るとともに、山口県の動物たちの知られざる行動や生態も紹介します。

展示のほか、県内で動物を飼育している動物園や水族館施設と連携した取組を通して、子どもたちが生きている動物への理解と関心を高める契機とします。

2 主 催

山口県、山口県教育委員会、「ふしぎ！おどろき！大動物展」実行委員会（山口県立山口博物館、（公財）山口県ひとづくり財団、（地独）山口県産業技術センター、tys テレビ山口、山口新聞社）

3 協 賛 （五十音順）

秋吉台自然動物公園サファリランド、宇部市ときわ動物園、下関市立しものせき水族館「海響館」、周南市徳山動物園

4 協 力 （五十音順）

株式会社RABO、北九州市立自然史・歴史博物館、東京大学大気海洋研究所、内藤靖彦（国立極地研究所名誉教授）、Biologging Solutions Inc.、山口カブトガニ研究懇話会、山口市農業政策課、山口県水産研究センター、山口県農林総合技術センター、山口大学農学部細井研究室、（有）リトルレオナルド

5 後 援

NHK山口放送局、エフエム山口、山口ケーブルビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、中国新聞防長本社、宇部日報社

6 会 期

令和4年7月15日(金)～8月28日(日) 36日間開催

(期間中の休館日：月・火、7月18日(月：海の日)・8月15日(月)・16日(火)は開館)

7 会 場

山口県立山口博物館 3階展示室

8 観覧料

- ・ 一般 1,000円、学生・シニア（70歳以上）650円
※ 協賛館との連携入館割引制度を利用した場合は、一般 800円、学生・シニア 500円
- ・ 18歳以下の方および小・中・高等学校、中等教育学校、総合支援学校（特別支援学校）に在籍する児童生徒は無料

9 展示内容

(1) さぐろう！動物たちのくらし

このフンや食痕は？ 暗闇の中でどうやって動物の行動を調べるの？モグラやネズミたちの巣穴に潜入！

サーモカメラや赤外線カメラなどの観察機器等を使用し、身近な野生動物の調査・研究の様子を体験。



白い個体がカヤネズミの幼獣
(サーモカメラ画像による)

(2) 世界や日本の動物大集合

東南アジアのボルネオオランウータン、オーストラリアのウォンバット、北アメリカのシロイワヤギ、アフリカのチーター・アフリカゾウ、フォークランドのイワトビペンギン、日本のニホンリスなど動物たちの子育てを写真と映像で紹介。剥製や実物大写真で形態や大きさも体感。



森の人 ボルネオオランウータンの家族（ボルネオ島）

(3) おどろき 迫りくる動物たち

最新の3Dカメラでとらえたアナグマ家族の映像は、毛の1本1本まで鮮やかに見え、VRゴーグルを装着するとすぐそばで触れることができるような感覚を味わえる。さらにアナグマの子育て、オオサンショウウオのオスの子育てを紹介。



森に棲むアナグマの親子
(山口市)

(4) やまぐちの動物たち

山口湾は世界に誇るカブトガニ産卵地。一齢幼生が海へと飛び出す瞬間を初めて撮影。日本で一番小さなネズミ カヤネズミの巣作りや子育て、動物行動日記であるバイオロギングで調べたオオミズナギドリ、ホシエイなどの行動を紹介。



産卵に来たカブトガニのつがい
(山口市山口湾)

10 関連企画

- (1) 日本を代表する動物写真家福田幸広氏のスライドトーク
- (2) 渡辺伸一博士によるバイオロギングを利用した動物たちの調査についての講演
- (3) 学芸員による展示解説、展示関連書籍の出版・販売

令和4年度地学分野企画展 開催要項

- 1 名 称 ^{ずかん}図鑑からとび出した!? ^{こうぶつ}カラフル鉱物大集合!!
一色^{いろ}いろな鉱物がいっぱい♪ワクワク全開ミネラルワールドー

2 趣旨

鉱物は天然に産する固体物質で、固有の化学組成と結晶構造をもちます。私たちはそこから鉄や銅など有用な成分を取り出したり、ダイヤモンドやエメラルドなど宝石として身に付けたりして利用しています。鉱物はその幾何学的な形、繊細な色彩、独特の輝きなどとても魅力的で、ワクワクして心が躍ります。

今回の展示では、さまざまな魅力の中で特に色に注目して鉱物を紹介します。山口県産出の鉱物のほか県外や他国産出の鉱物を、着色の原因の解説や実験動画とともに展示します。この機会に、カラフルな鉱物の魅力を感じてみてください。

- 3 主 催 山口県立山口博物館

- 4 会 期 令和4年4月27日(水)～6月19日(日)
9:00～16:30 (入館16:00まで)

- 5 会 場 山口県立山口博物館 3階特別展示室

- 6 観覧料 常設展観覧料に含まれます(一般 150円、学生 100円)
※18歳以下と70歳以上、高等学校・中等教育学校・総合支援学校(特別支援学校)の生徒は無料

7 展示内容

① ^{いろ}色いろな鉱物がいっぱい♪

山口県産のほか県外や他国産の鉱物を色別に約100点展示します。ルビーやサファイアのように同じ化学組成でも違う色味をもつ鉱物や、多彩なガーネットグループなども紹介します。

② ○○したらこんな色?!

ブラックライトを照射したときの色や削ったときの粉の色は、普段目にする色とは異なり、鉱物の同定にも役立ちます。実物と実験動画の展示をします。

レンズでのぞいた宇宙の不思議 やまはくの天体望遠鏡 開催要項

1 趣 旨

山口県立山口博物館では、88年前の1934年（昭和9年）頃から天体観望会を行った記録が残っています。現在では、出前授業をはじめ、観望会など多くの天文分野の教育普及活動を行っています。活動の中心は、天体望遠鏡を使って天体観察をすることであり、子どもから大人まで多くの人が星について学び、星への魅力を感じています。

本企画展では、過去の教育普及活動で星の魅力を伝えた天体望遠鏡について、普及活動が始まった当初から現在に至るまでの天体望遠鏡を展示するとともに、天体望遠鏡の仕組みと教育普及活動の歴史について、美しい天体写真のパネルなどを用いながら紹介します。展示をとおして宇宙について興味を持っていただければ幸いです。

2 会 期 2022年12月9日(金)～2023年4月9日(日) 99日間開催
9:00～16:30（入館は16:00まで、毎週月曜日休館）

3 会 場 山口県立山口博物館 3階

4 主 催 山口県立山口博物館

5 観覧料 常設展観覧料（一般 150円、学生 100円）

*70歳以上、18歳以下及び高等学校・中等教育学校・総合支援学校（特別支援学校）等に在学する生徒は無料。

6 展示内容

天体望遠鏡の実物資料と解説を展示します。

- (1) 当館所蔵の代表的な天体望遠鏡の展示
- (2) 望遠鏡の歴史と仕組みについての展示とパネル
- (3) 当館の望遠鏡で撮影した天体写真の展示

7 関連行事

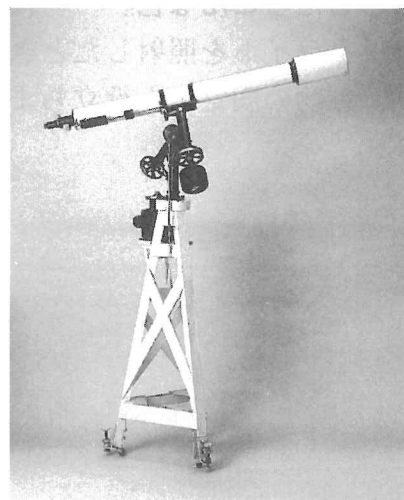
- (1) 期間中に当館天文台の見学ツアーの実施
- (2) 教育普及講座にて、「惑星を見る会」・「望遠鏡を見比べよう！」を実施

8 その他

新型コロナウイルス感染症により、会期や展示内容が変更になる場合があります。



1941年9月の日食観測にて



サイエンスやまぐち 2022

開催要項

1 趣 旨

児童・生徒たちの常日頃の研究成果を、作品の展示や研究発表会を通して広く県民の方々に見ていただく場を提供し、その成果を顕彰することにより、青少年はもとより県民の自然や科学への関心を深め、科学活動が活発となることを目指すものです。

2 主 催 山口県、山口県教育委員会

3 共 催 一般社団法人山口県発明協会 山口県小学校教育研究会理科部 山口県中学校教育研究会理科部 山口県高等学校教育研究会理化部会 山口県高等学校教育研究会生物部会

4 内 容

児童・生徒の研究成果を顕彰する取り組みとして、科学作品展と科学研究発表会を実施する。両取り組みの総合開会式・表彰式を開催する。

(1) 第76回山口県科学作品展

- ・自然の部 県内の児童生徒が、自然を相手にして取り組んだ観察・実験の研究物の優秀作品 約160点
- ・創造の部 県内の児童生徒が、今年度創意工夫した生活用具や遊び用具などの優秀作品 約55点

会 期 令和4年10月28日（金）～11月13日（日）

※開場時間 9:00～16:30 入場は16:00まで

※10/31(月)、11/7(月)は休館日、15日間開催

※10/28(金)は、総合開会式終了後に開場（10:30頃）

会 場 山口県立山口博物館（山口市春日町8-2）

観覧料 常設展入館料に含む

一般 150円（団体 120円） 学生 100円（団体80円）

18歳以下及び70歳以上、高等学校・中等教育学校・特別支援学校等に在籍する生徒は無料。団体は20名以上

（教育・文化週間期間中の11月1日(火)～7日(月)は、すべての入館者が無料。）

(2) 第76回山口県科学研究発表会

県内の児童・生徒の科学に関する研究発表作品を、小学校は資料・DVDの形で募集し、審査する。中学校・高等学校はオンラインでの対面で審査を行う。

小学校の部（DVDによる審査）

審 査 令和4年10月13日（木）

会 場 山口県立山口博物館会議室（山口市春日町8－2）

中学校・高等学校の部（オンライン中継による審査）

審 査 令和4年10月13日（木）

会 場 山口県立山口博物館講座室（山口市春日町8－2）

(3) 総合開会式・表彰式

日 時 令和4年10月28日（金）10：00～10：30

会 場 山口県立山口博物館（山口市春日町8－2）

常設展示 入館案内

開 館 時 間 9時～16時30分

(入館は16時まで)

閉 館 日 ① 月曜日 (当日が祝日の場合は火曜日)

② 年末年始 (12月28日～1月4日)

③ 全館停電日

④ 全館消毒日

常設展示観覧料

区 分	個人	団体 (20人以上)
一 般	150円	120円
学 生	100円	80円
無 料	(1) 生活保護を受けている者 (2) 身体障害者 (身体障害者手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (3) 戦傷病者 (戦傷病者手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (4) 高齢者 (70歳以上の者) (5) 知的障害児者 (療育手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (6) 精神障害児者 (精神障害者保険福祉手帳の交付を受けている者) 及びその介護人 (7) 小・中・高の児童生徒の団体観覧の引率教員 (8) 教育・文化週間 (11月1日～7日) 期間中の全入館者 (9) 19歳未満の者及び高等学校、中等教育学校、総合支援学校 (特別支援学校) 等に在学する生徒	

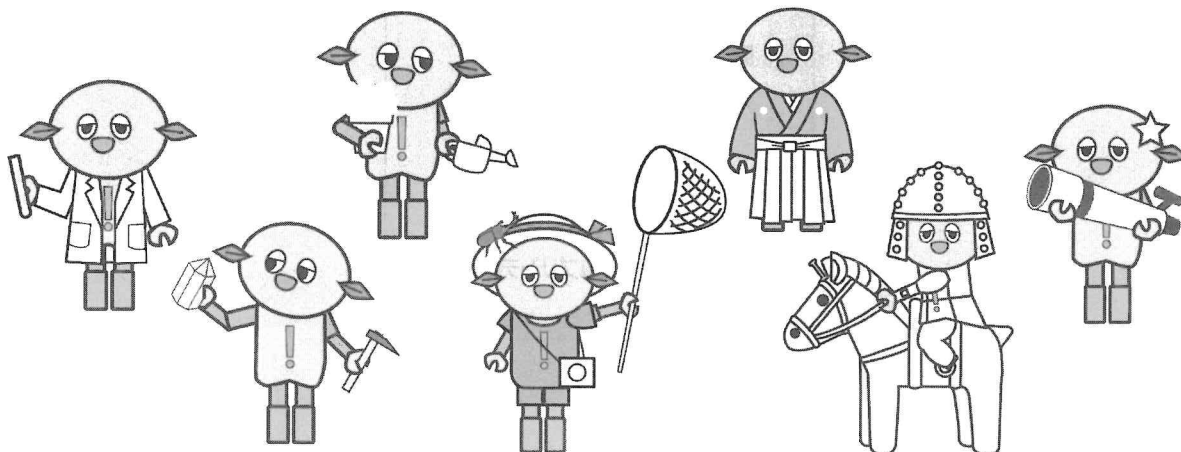
(特別展の場合は観覧料が変わります)

常設展示内容 天文・地学・植物・動物・考古・歴史・理工
 場 所 〒753-0073 山口市春日町8番2号
 (バス利用) 県庁前下車徒歩4分

TEL (083) 922-0294

FAX (083) 922-0353

URL <https://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



発 行 令和5年2月

発行者 山口県立山口博物館
山口市春日町8の2

☎ 083-922-0294

FAX 083-922-0353

印刷所 衛いづみプリンティング